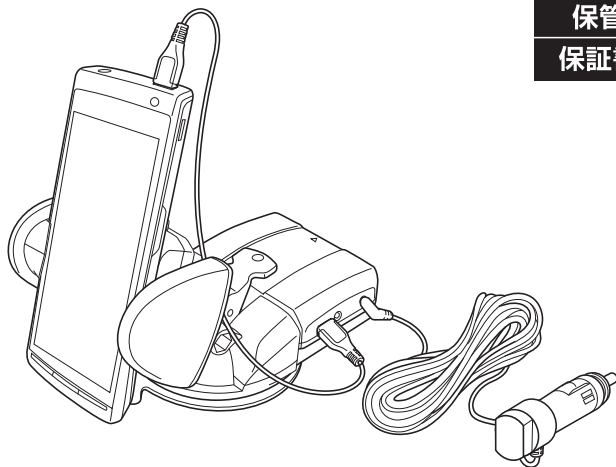
TechVision®

【SA-001】

スマートフォンがGPSレーダー探知機になる

OBINAVI
取扱説明書

保管用
保証書付

この度は、TechVision® アンドロイドOS搭載スマートフォン対応レーダー探知機SA-001をお買い上げ頂きましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気をつけておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなかったり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見る事ができるように、お車のグローブボックス等に大切に保管してください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。
警告の有無に関わらず、速度の出しすぎに注意し、交通のルールを守り正しく走行してください。

特長

スマートフォンがGPSレーダー探知機になる

**スマートフォンにアプリをダウンロード。
レシーバーとBluetoothペアリングして
本格的GPSレーダー探知機に。**

※アプリケーションは約14MBです。
ダウンロード時に通信料が発生します。

アプリケーションダウンロード

クレイドルに設置

microUSBケーブルでスマートフォンを充電
約20cm/約1.5m(各1本付属)

レシーバー

ペアリング確認LED
(通電確認LED)

ワンタッチホールド
やわらかラバーでしっかり固定

吸盤クレイドル
ダッシュボードに簡単取り付け

シガー電源ケーブル(シガーライターソケット電源)
差し込むだけで簡単。難しい配線はありません。約3m(1本付属)

GPSポイントも、電波もしっかり警告

**スマートフォンのGPSで探知。
電波受信もしっかりできる
わかりやすく、シンプルな
GPSレーダー探知機です。**

THIS PRODUCT WAS DESIGNED BY YAC CO.,LTD.JAPAN.
MADE IN KOREA　この製品は日本国内で企画され、韓国で製造されたものです。
○本製品は当社のオリジナル汎用商品であり、ライセンス商品ではありません。○androidはGoogle Inc.の登録商標です。○Bluetooth® およびBluetoothロゴはBluetooth SIG,inc USAの登録商標です。○その他記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。○パッケージ・カタログ等に記載の商品写真・取付写真は撮影用イメージです。ケーブル類等を省略している場合があります。また、印刷のため製品の色が実際の色とは異なって見える場合があります。○各画面写真はハメコミ合成のため、仕様については実際と異なる場合があります。○本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。○記載内容は全て2011年11月現在のものです。この製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

目次

ご使用の流れ

1 アプリケーションのダウンロードをする・・・9ページ～

androidマーケットでOBINAVIを検索し、アプリケーションのダウンロードをします。
シリアルナンバーはレシーバー部底面にある、「SAから始まる番号8桁」です。

2 取り付け場所を確認する・・・13ページ～

GPS受信のしやすい場所・運転の妨げにならない場所を確認します。

3 本製品を取り付ける・・・16ページ～

吸盤クレイドルを取り付けます。レシーバー部単体での取り付けも可能。

4 接続をする・・・15・19ページ～

シガー電源ケーブルを接続します。

5 スマートフォンを充電・ホールドする・・・15・21ページ～

スマートフォンにmicroUSBケーブルを接続し、TELホルダーにホールドします。

6 通電・充電の確認・音量調節・・・24ページ

本製品に通電されているか、スマートフォンに充電されているかを確認し、
スマートフォンの音量を調節します。

7 スマートフォンのBluetooth・GPSの起動・・・24ページ

スマートフォンのGPS・Bluetoothを起動させます。

8 アプリケーションの起動・GPS測位の確認・・・25ページ

アプリケーションを起動させ、待受画面にあるGPSマークが点灯しているか確認します。

9 Bluetoothペアリングの確認・・・25ページ～

待受画面にあるBluetoothマークが点灯しているか確認します。

10 各種設定をする・・・35ページ～

まずは、基本設定・受信設定をお好みで設定してください。

安全上の注意

ご使用になる前の安全上の注意事項

この説明書に記載されている記号の意味を十分に理解して、この「安全上の注意」をよくお読みの上で正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載しています。

■各記号の意味　次の絵表示の区分は、必ずお守りいただく内容を説明しています。

⚠危　険	誤った使い方をすると死亡または重傷等を負う危険の発生が切迫して想定されるもの。
⚠警　告	誤った使い方をすると死亡または重傷等を負う可能性があるもの。
⚠注　意	誤った使い方をすると傷害を負うおそれ、または物的損害（車両･家屋･家財等に関わる拡大損害）が発生するおそれのあるもの。

この記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

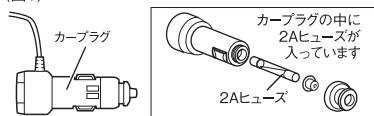
⚠危　険

- 走行中のスマートフォンの使用は法律で禁止されています。スマートフォンおよび本製品の操作は安全な場所に停車して行なってください。
- 本製品使用中に発煙したり、異臭･発熱･発火･変形等の異常が起きた場合は、ただちに電源を切り（カープラグを抜き）、使用を中止してください。
- 万一故障した場合は直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、火災や感電等の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品の操作および接続･画面の注視は絶対にしないでください。交通事故の原因となります。
- ペースメーカー等の医療機器の近くでは使用しないでください。医療用電気機器を誤作動させるおそれがあります。
- 本製品の使用により、車載電子機器に影響を及ぼす場合があります。そのような場合は使用しないでください。
- 必要以上に大きな音量での使用はおやめください。聴力に悪影響を与えるおそれや、運転操作の妨げになるおそれがあります。

⚠警　告

- 運転や視界の妨げにならない場所、またはエアバッグ･ブレーキ･ハンドル等の機能を妨げない場所に取り付け･配線をしてください。
- カープラグを奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと接触不良を起こし、本体が過熱して非常に危険です。
- 小さなお子さまの手の届かない場所で保管･使用してください。
- 本製品は動作状況をLEDの光でお知らせします。LEDの光を直視したり、運転者や車外に光を向けたりしないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたり、雨や雪等の状況下･湿気の多い所で使用しないでください。感電･ショート等の原因となります。
- 本製品は車内専用です。屋外での使用や、自動二輪などでの使用はおやめください。
- ケーブル類を傷付ける･無理に曲げる･束ねる･重い物を載せる･加工する等の行為はしないでください。また、ケーブルが傷ついた場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品の分解･改造は絶対にしないでください。発熱や故障の原因となります。
- プラグ類が痛んだり、差し込みがゆるい時は使用しないでください。ショート･発火等の原因となります。
- 濡れた手での操作やプラグ類の抜き差しはおやめください。また、濡れた状態のプラグ類を差し込むこともおやめください。感電･ショート等の原因となります。
- ヒューズ交換時は、必ず2Aヒューズを使用してください。指定以外のヒューズをご使用になりますと、発熱･発火の原因となります。ヒューズはカープラグの中に入っています。（図1）

（図1）

- ガソリンスタンドやガスコンロ等の引火性ガスの発生する場所では使用しないでください。

⚠注　意

- 本製品を昼間の車内等の高温になる場所に放置・保管すると本体が変形します。
- カープラグは落下防止のため、固めの設計になっています。カープラグをシガーライターソケットから抜く際は、φ3.5ミニプラグを抜いてからカープラグを持って、指でシガーライターソケットを押さえながら除々に抜いてください。無理に抜きますと、破損・故障の原因となります。
- カープラグをソケットに差し込んだまま回転させないでください。シガーライターソケットや本製品が破損する場合があります。
- 本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 急ブレーキや悪路走行等により、カープラグとシガーライターソケットがゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。走行前にカープラグがシガーライターソケットの奥まで差し込まれているか必ず確認してください。
- ウインカーレバー・シフトレバー・コラムシフト・ワイパーレバー・ドア・ピラー等と干渉する場合や突起物として危険の生じる場所には取り付けできません。
- 誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因する本製品およびスマートフォン等の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品のカープラグの金属部分は過熱している時があります。使用直後は本製品のカープラグの金属部分に触らないでください。火傷するおそれがあります。
- 本製品には鋭利な部分がありますので、取扱いには十分注意してください。
- 本製品は一部金属を使用していますので、金属部分が熱くなる可能性があります。ご使用の際には十分注意してください。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品はDC12V車専用です。24V車等、他の電圧での使用は絶対におやめください。
- 本製品は日本国内仕様の商品です。海外では使用しないでください。
- 穴やスキ間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 油煙や湯気のあたる場所・エアコンの風が当たる場所には設置しないでください。故障の原因となります。

使用上の注意

ご使用にあたっての注意事項

ここに示した注意事項は、お使いいただくにあたって事前にご了承いただく内容や注意が必要な内容を記載しています。

⚠注　意

本製品はスマートフォンの機能を一部利用して作動するものであり、スマートフォン本来の目的である電話着信時の画面・音声などは全て電話着信が優先されます。

- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも速度の出し過ぎには注意し、交通ルールや実際の道路標識・状況に従い走行してください。また、緊急車両が接近した場合は速やかに道を譲ってください。
- 本製品の使用用途以外でのご使用はおやめください。
- 本製品の使用の有無に関わらず、走行中のスピード違反や駐車違反等による減点や罰金・事故等に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品による表示や警告の誤りにより生じた金銭的損害・逸失利益などについて、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品・スマートフォンを使用する場合は、本製品やスマートフォンの取扱説明書に従って正しくご使用ください。誤った取扱いやお客様の改造により発生した事故・故障・破損・損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は、製品に登録・記録されたデータおよびGPS信号・レーダー波を含む各種無線を受信し、それを基に独自に計算されたデータを利用して警告を行なっています。そのため、登録・記録されていない地点や、GPS測位が不安定・未測位な場合および各種無線が受信できない場合には、警告動作を行なうことができません。また、警告内容と実際の状況が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品使用時に発生した違反等に関して、当社は一切の責任を負いません。交通ルール・マナーを守り、日頃から安全運転を心掛けてください。
- 一部の地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等の使用や強い電波の影響や周囲の状況により、本製品が鳴り続ける場合があります。
- 本製品は車載の電装機器（地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合がありますが、故障や不良ではありません。その場合は、十分間隔をとって設置してください。
- 光電管を使用した有人式の速度取締りや追尾式の取締りに対しては警告することができません。
- 前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準に適合しない場合があります。

使用上の注意（つづき）

・本製品の動作温度範囲は－10℃～+50℃です。極端な低温・高温となり、車内がその範囲外の温度になると、正常に動作しなかったり、故障の原因となりますのでご注意ください。万一正常に動作しなくなった場合は、一度カープラグをシガーライターソケットから抜き、周囲の温度が動作温度範囲になってから、再度カープラグを差し込み、電源をとってください。
・使用状況や経年変化により、変色・劣化等が発生する場合があります。
・砂利道等の振動が多い場所やホコリ・湿気の多い場所では使用しないでください。

■熱反射ガラスについて

・一部車種のウインドーに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号や各種無線・レーダー波の受信がしにくかったり、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無はディーラーまたはメーカーにお問い合わせください。

■GPS機能について

・本製品に登録されている各種GPSデータは、公表されているデータを参考に集計・作成しています。
・本製品は、あらかじめ収録している取締機の位置情報を基にしているため、光電管式を除いてレーダー波が出ていないオービスにも対応します。
・本製品は、スマートフォンに内蔵されているGPS信号を基に動作します。GPS衛星は、その管理者により精度が変更されることがあります。また、受信状況によっては誤差が生じる場合があります。
・GPSの測位精度はスマートフォンにより違いがあります。
・GPSを受信するスマートフォンは衛星電波の受信感度の良い場所に設置してください。
・GPS警告は予め登録された位置情報と、お客様が任意で登録した位置情報のみ作動します。
・車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、GPSを測位できなくなることがありますが、故障や不良ではありません。
・初めて起動する時・最後の電源OFFから長時間経過後に電源ONした場合・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS測位に時間がかかる場合があります。
・GPS測位ができない状態では、レーダー波と無線受信のみの反応となります。GPSを使用した機能・登録されているGPSデータは使用できません。
・GPS ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対するGPS警告ができなかったり、警告が頻繁に行なわれる場合があります。
・走行速度の表示は、GPS測位から算出され、表示されるため、実際の数値と異なる場合があります。運転中は必ずスピードメーターで速度を確認してください。
・本製品はトンネル内のオービスには対応していません。

■警察署について

・移動・新設等があった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

■駐車違反取締区域について

・本製品に登録されている駐車違反取締区域は、各警察署から公表されている「駐車監視員活動ガイドラインマップ」より作成しています。したがって駐車禁止の標識やその他標識の設置場所・駐車禁止の指定場所であっても、全ての駐車違反取締区域が警告されるわけではありませんので、必ず指定の標識等に従ってください。

■取締ポイントについて

・取締ポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りが行なわれていることに対しての警告ではありません。また、警告の前後で取締りを行なっている場合もあります。

■無線受信機能について

・受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を使用することは、電波法第59条により禁じられています。
・受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
・一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる・変更される等の理由により、受信できない場合があります。
・各種無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
・レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または頻繁に受信する場合があります。
・本製品は、一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのため、それ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
・署活系無線はチャンネル数が多く、使用頻度も高いため、連続的な受信や頻繁な受信がされる場合があります。

■カーロケーターシステムについて

・カーロケーターシステムは、全ての警察関係車両に搭載されているわけではありません。また、搭載されていても常時電波を発信していません。
・カーロケーターシステムの受信については、導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

使用上の注意（つづき）

■レーダー受信について

・前に走行している車（特に大型車）がある場合や、コーナー・坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。
・待機時には電波を出さず、対象の車が近くに来るまで電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。そのため、感知できなかったり、通過後に警告が鳴る場合がありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダーと同じ電波を使用しているため、反応する場合がありますが、故障や不良ではありません。
・設置されている取締機の中には稼動していないものもあります。この場合、レーダー波受信のお知らせはすることができません。
・取締り準備中や取締り終了後等で、スピード測定装置からレーダー波が発射されていない場合があります。このような時は反応しません。

■使用スマートフォンについて

・本製品のmicroUSBポートは、出力電圧約DC5V、定格電流約0.5Aです。使用されるスマートフォンの電流値（アンペア数）を必ず確認してご使用ください。発熱・発火等の原因となり大変危険です。
・スマートフォンは、直射日光の当たる状況下では使用・保管・放置しないでください。変形・故障・電池パック異常の原因となります。また、スマートフォン本体の一部が熱くなり、火傷の原因となります。
・車から離れる際はスマートフォンを車内に設置したままにしないでください。盗難や、車内温度による故障の原因となります。
・ディスプレイは長時間同じ映像を表示したり、（短時間でも）繰り返し表示した場合、表示跡が残る「焼き付け」現象が発生する場合があります。これらはディスプレイの特性によって起こる現象であり、故障や不良ではありません。（焼き付けは完全に消す事はできません。）ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減することができますが、本現象のディスプレイの修理は保証対象外ですのであらかじめご了承ください。
・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車に設置する際にはご注意ください。
・スマートフォンは、本書をよくお読みになり、正しく設置してください。
・スマートフォンの取扱方法・注意事項に関してはスマートフォンの説明書をご参照ください。スマートフォンの不具合に関しては当社は一切の責任を負いかねます。
・本製品の使用によるスマートフォンの破損・内部および接続されたメモリーデータの破損や消失に関する責任は一切負いかねます。
・スマートフォンでFeliCa機能を使用し、電源が入らない等、万一スマートフォンに不都合が生じた場合、FeliCa機能が使用できなくなる可能性があります。その場合、IC内のデータやチャージマネーの保全・サービスの回復作業に関し、当社では一切の責任を負いかねます。この作業はお客様個人以外行なえません。FeliCa機能を使用される場合は、事前に十分充電をしておいてください。また、本製品を接続したままこれらの使用はおやめください。
・機種によっては純正の充電器を使用した場合とLED表示／画面表示が異なる場合があります。

■アプリケーションについて

・本製品のアプリケーション使用時にはデータ通信はしませんが、GPS設定による通信料が発生する場合があります。また、ダウンロード時に通信料が発生します。
・アプリケーションのアップグレードサービスは予告なく休止または中止する場合があります。
・本製品はスマートフォンのGPS機能を使用します。GPS機能を使用する他アプリケーションとの併用はできません。
・他アプリケーションとの併用により、本製品の動作が遅くなったりする場合があります。
・本製品のアプリケーション・搭載されているコンテンツは、個人として使用するほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

■保存データについて

・本製品は、使用の誤り・静電気・電気的ノイズの影響を受けた時や故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。あらかじめご了承ください。
・お客様によって設定・保存された内容は、一度消去するとデータを復元する事はできません。消去の操作は十分に注意して行なってください。
・お客様が登録されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反します。

■取り付けについて

・車種によっては本製品の取り付け跡が残ったり、変形したりします。また、日焼けによる周囲との色の差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
・使用状況や経年変化により、本製品に変色・劣化等が生じる場合があります。
・カープラグやその他ケーブル類は、必ず同梱の付属品をご使用ください。
・一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わない場合があります。あらかじめご了承ください。

■その他のご注意

・安全のため、ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
・本製品の仕様および外観は予告なく変更する事があります。
・本取扱説明書には保証書が添付されています。お買い求めの際には購入年月日など、所定事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。

アプリケーション利用規約

本ソフトウェア利用規約

ヤック株式会社(以下当社) が提供する OBINAVI 1(スマートフォン向けレーダー探知機/以下本ソフトウェアとする)への利用規約となります。本ソフトウェア利用者(以下、ユーザーとする)は本規約に従う事を予め合意しているものとみなしますので、本ソフトウェアを利用する前にこの規約を必ずお読みください。

1)使用許諾

本ソフトウェアをダウンロード/インストールする過程および使用したことによるスマートフォンの故障、その他あらゆる損害・損失(商業的損害・損失を含む)などを含め、当社は一切の責任を負いません。
また、本規約において特に定める場合を除き、他の第三者に対し、本ソフトウェアの使用権を譲渡又は再使用を許諾するなどにより、本ソフトウェアを使用することはできません。

2)著作権および知的財産権

本ソフトウェアの一切の著作権および知的財産権(プログラム・画像・ドキュメント・ユーザーインターフェイス等を含む)は当社に帰属します。

3)禁止事項

本ソフトウェアのユーザーは次の各号に定める利用をすることはできません。

(1)逆アセンブル・リバース・エンジニアリング又はその他の方法で本ソフトウェアを解析すること
(2)本ソフトウェアを購入ユーザー以外の第三者に配布すること
(3)本ソフトウェアをインターネット・メール又は記録媒体複製により配布・販売すること
(4)world wide web、FTP、LAN等により、本ソフトウェアを特定・不特定に関わらず第三者にネットワーク配信すること
(5)本ソフトウェアを改変・修正、その他変更する等、本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権を侵害すること
(6)本ソフトウェアのシリアルナンバーを特定・不特定に関わらず第三者に配布・貸与又は譲渡・販売すること
(7)本ソフトウェアのシリアルナンバーを直接・間接的に購入せず不正行為で利用すること

4)本ソフトウェアのユーザー利用停止

次の各号のいずれかに該当する場合、当該ユーザーの本ソフトウェアの利用を直ちに停止する事ができるものとします。

(1)本規約に違反、又は違反するおそれがある時
(2)禁止事項に該当し、本ソフトウェアの運営の妨げ、もしくは妨げるおそれがある時
(3)シリアルナンバー等の流出が発生し、サービス利用上の損害又は第三者による不正利用等が発生した場合
(4)その他当社業務の運営進行に支障をきたすと当社が判断した時

5)免責

(1)ユーザーが本ソフトウェアを利用した事により発生したユーザーの損害及びユーザーが第三者に与えた損害について当社は一切の責任を負いません。また、本ソフトウェアの運用の停止・休止・中断等により発生した損害について一切の責任を負いません。
(2)シリアルナンバーの管理ならびにその使用はユーザーの責任とし、使用上の過失または第三者の不正な使用等について当社は一切責任を負いません。
(3)OSの復元時/アップグレード時に本ソフトウェアを復元できなかった場合や、スマートフォンの故障について当社は一切の責任を負いません。

6)本ソフトウェアの変更

当社が必要と判断した場合には、ユーザーの承諾を得る事なくいつでも本ソフトウェアの内容を変更できるものとします。

7)個人情報規約

本製品使用に関して登録されたユーザー情報は、個人情報に関する法令、規範および社内諸規定に則り適正に管理いたします。また弊社は、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏洩等について適切かつ合理的な安全対策を講じるとともに、万一の発生時には速やかな是正措置を実施いたします。

8)利用規約の変更

当社が必要と判断した場合には、ユーザーの承諾を得る事なくいつでも本規約の内容を変更できるものとします。

9)準処法

本規約の執行可能性、解釈および有効性は日本国法に基づいて判断されるものとします。

この規約は平成23年11月24日から執行します。

アプリケーションのダウンロード

はじめに、スマートフォンにアプリケーションのダウンロードをしてください。このアプリケーションを使用することで、スマートフォンがオービス等のGPS位置情報の警告を行えるようになります。

アプリケーションを使用する上で必要なスマートフォンの仕様

■ANDROID2.2/2.3 OS搭載
■GPS 内蔵
■Bluetooth内蔵（本製品のBluetooth：V2.1+EDR/使用プロファイルSPP・OPPに対応している事）
※Bluetoothバージョン・プロファイルが適合している場合でも、接続ができない場合があります。必ず適合機種をご確認ください。
■microUSB端子（スマートフォン充電用）
■推奨画面サイズ：480×800ドット
（推奨サイズ以外での画面は、操作ボタンの大きさや、すき間がパッケージの画面イメージと異なりますが、作動に影響はありません。）
※アプリケーションダウンロードにはGoogleのアカウントが必要です。

注意
・本製品のアプリケーション使用時にはデータ通信はしませんが、GPS設定による通信料が発生する場合があります。また、ダウンロード時に通信料が発生します。
・アプリケーションのアップグレードサービスは予告なく休止または中止する場合があります。
・本製品はスマートフォンのGPS機能を使用します。GPS機能を使用する他アプリケーションとの併用はできません。
・他アプリケーションとの併用により、本製品の動作が遅くなったりする場合があります。
・本製品のアプリケーション・搭載されているコンテンツは、個人として使用するほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

適合機種の詳細はQRコードにてご確認いただけます▶

アドレスからもご確認頂けます ▶ http://www.yacjp.co.jp/m/obinavi/

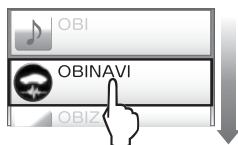
※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

アプリケーションのダウンロード方法

注意
・アプリケーションのダウンロード時には必ず、スマートフォンのデータ受信が良好な場所で行なってください。

1 スマートフォンメニューにあるアンドロイドマーケットで、アプリケーション名を検索してください。「OBINAVI」と検索します。

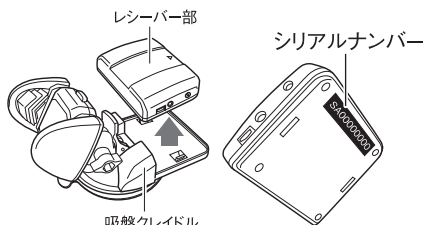
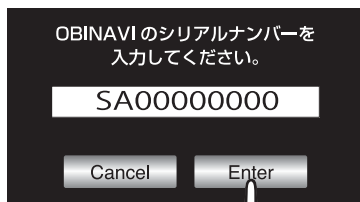
OBINAVI

2 スクロールしてOBINAVIを探し、タッチしてください。

3 利用規約等をよくお読みの上、ダウンロードを開始してください。

注意
・利用規約につきましては、8ページを参照してください。
・アプリケーションサイズは約14MBです。十分な空き容量があることを確認してください。
・本アプリケーションはダウンロードするとインストールも同時にされます。
・ダウンロード時には通信料が発生します。
・アプリケーションは無料です。

アプリケーションのダウンロード(つづき)

4 スマートフォン上に、OBINAVIのアプリケーションアイコンが表示されますので、タッチして起動します。

5 アプリケーションの起動は初回のみ、シリアルナンバーを入力するように促されます。本体レシーバー部の裏面にある、SAから始まる8桁の番号を入力し、Enterを押してください。

吸盤クレイドルからレシーバー部をはずし、
レシーバー底面をご覧下さい。
(レシーバー部のはずし方は 18ページ)

注意
・シリアルナンバーを入力しEnterを押すと、正しいシリアルナンバーであるかどうかの確認をするため、最大10秒程度時間がかかります。その際に通信料が発生します。
・シリアルナンバー確認時にお客様の電話番号とシリアルナンバーを登録させて頂きます。

注意
このシリアルナンバーを使用してアプリケーションを起動できる回数は3回までです。本製品のアプリケーションを使用するための大切なシリアルナンバーですので、番号をお控えください。

・スマートフォンの破損、故障時の際に使用する為のものです。第三者等への譲渡は本製品アプリケーション利用規約に反しますのでおやめください。
・電話番号とシリアルナンバーを弊社にて登録させていただき、本製品のご利用ができるようになります。登録された情報に関しましては本製品アプリケーション利用規約にしたがって管理させていただきます。

電話番号の変更をされる場合は弊社に登録されている情報を更新する必要があります。お手数ですが弊社「お客様相談室」へご連絡いただくようお願いいたします。

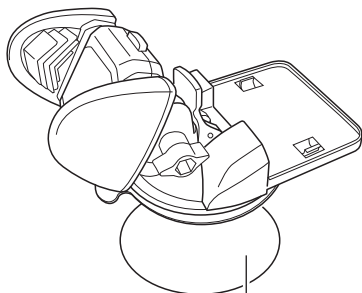
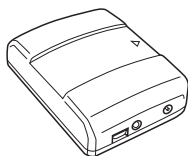
商品に関するお問い合わせは…
お客様相談室　0564-66-0773(直通)
受付時間:月〜金(祝祭日除く)　9:30〜17:30

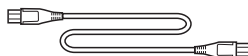
6 アプリケーションが起動します。
※アプリケーションのセットアップについては24ページ〜を参照ください。

注意
・シリアルナンバーを３回以上間違えた場合や不正なシリアルナンバーが入力された場合は、アプリケーションがシャットダウンされ、再度アプリケーションを起動させようとしても、右図のような画面が表示されます。
・シリアルナンバーの入力を３回以上間違えた場合は、シャットダウンされたOBINAVIをアンインストールした後、再度アンドロイドマーケットからアプリケーションをダウンロードし、正しいシリアルナンバーを入力してください。

もう一度 OBINAVI を
ダウンロードしてください。

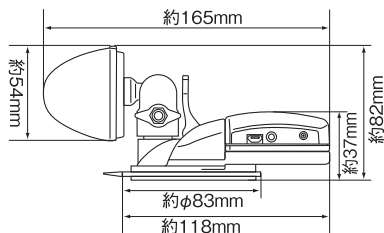
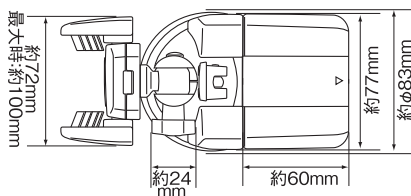
セット内容

ご使用前にセット内容をお確かめください。

＜セット内容＞

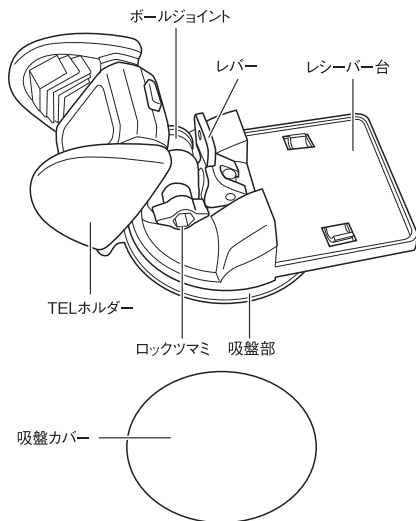
①吸盤クレイドル	1	④microUSBケーブル約20cm	1
②吸盤カバー	1	⑤microUSBケーブル約1.5m	1
③レシーバー部	1	⑥シガー電源ケーブル約3m	1
		⑦取扱説明書（本書）	1

【お手入れ方法】 本製品のお手入れは、めがね拭き等のやわらかく乾いた布等で拭いてください。

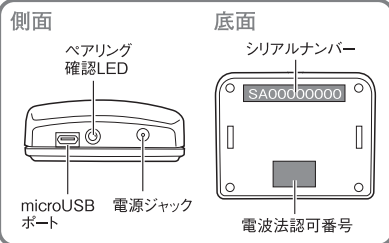
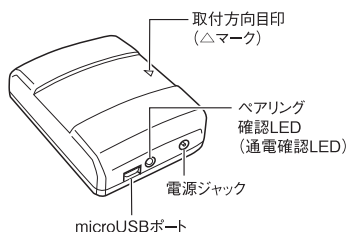
製品サイズ

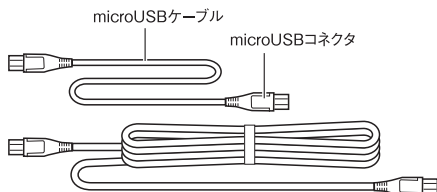
本体（吸盤クレイドル＋レシーバー部）サイズ

約72mm 最大時：約100mm
約77mm
約φ83mm
約24mm
約60mm
約165mm
約54mm
約82mm
約37mm
約φ83mm
約118mm

各部の名称と働き

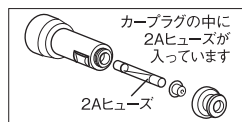
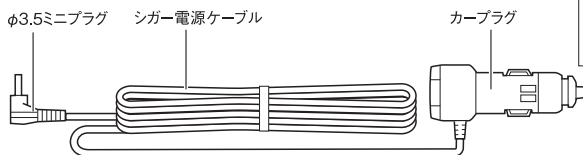
吸盤クレイドル

■取付基台

レシーバー部

■各種無線／レーダー波受信装置

microUSBケーブル（約20cm/約1.5m）

■スマートフォンの充電をするケーブルです

約20cm	吸盤クレイドルで取り付ける場合に使用します。
約1.5m	レシーバー部を単体で取り付ける場合に使用します。

シガー電源ケーブル（約3m）

■レシーバー部への電源を供給するケーブルです

取り付けの前に

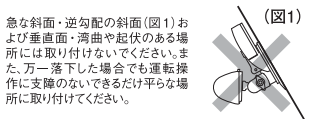
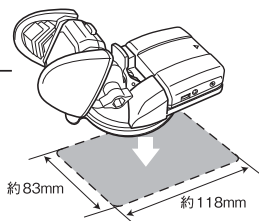
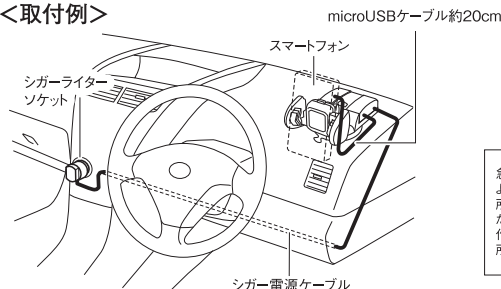
取り付け場所の確認

1.取付方法の確認

本製品の取付は、吸盤クレイドルで取り付ける場合と、レシーバー部を切り離して取り付ける場合の2通りから選べます。スマートフォンサイズが適合しない場合や、吸盤クレイドルが設置できない場合には、別途市販のTELホルダー等での取り付けが可能です。

A 吸盤クレイドルで取り付ける場合

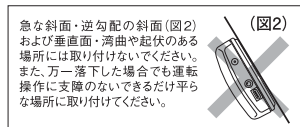
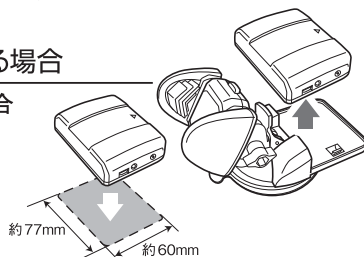
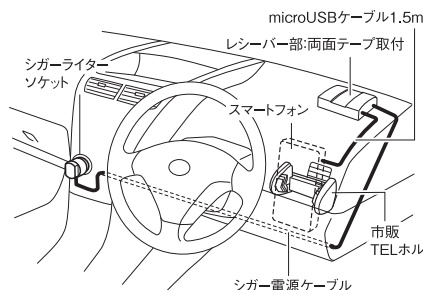
＜取付例＞

急な斜面・逆勾配の斜面（図1）および垂直面・湾曲や起伏のある場所には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のないできるだけ平らな場所に取り付けてください。

注 意

・吸盤クレイドルの取付には約（幅）83×（奥行き）118mmの平面が必要です。
・吸盤部が十分な性能を発揮しなくなった場合は使用を中止してください。
・ケーブルの取りまわしを想定して設置場所を決めてください。

B レシーバー部を切り離して使用する場合

＜取付例＞市販のTELホルダーを使用する場合

急な斜面・逆勾配の斜面（図2）および垂直面・湾曲や起伏のある場所には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のないできるだけ平らな場所に取り付けてください。

注 意

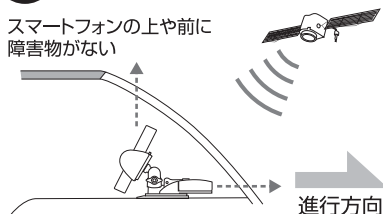
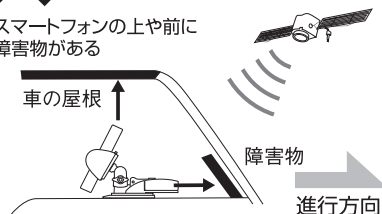
・レシーバー部の取付には約（幅）77×（奥行き）60mmの平面が必要です。
・レシーバー部裏面に両面テープ（市販品／要別途購入）を貼り、ダッシュボードへ取り付けてください。
・GPS受信が可能な場所にスマートフォンを固定できる、TELホルダー（市販品／要別途購入）が必要です。
・ケーブルの取りまわしを想定して設置場所を決めてください。
・レシーバー部を切り離した状態での吸盤クレイドルの使用はおやめください。

＜A・B共に次のような場所には取り付けできません＞

●運転や視界の妨げになる場所、またはエアバッグ・ブレーキ・ハンドル等の機能を妨げる場所●フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラス●極端な曲面および垂直面・表面のシボ加工（しわや凹凸模様）が粗い場所●指で押すと変形するようなやわらかい材質の場所●特殊な内装の表面（ディンプル・深い溝）●塗装・コーティング剤等が施されている場所や革・木・布の場所●取付寸法の平面が確保できない場所

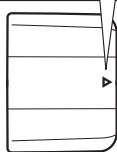
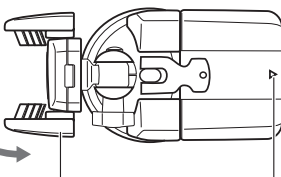
取り付け場所の確認

2.GPS受信の確認

本製品は上空からのGPS信号（スマートフォンで受信）と、前後方向からの各種無線・レーダー波を受信（レシーバー部で受信）してお知らせします。そのため、スマートフォンや本製品レシーバー部の上や前（車の進行方向）に金属等の障害物があると受信に支障をきたし、正常に動作しません。取り付け場所の上や前（車の進行方向）に障害物がないことを確認の上、取り付けてください。

スマートフォンを設置したい場所でGPS受信が十分にできるかご確認ください。スマートフォンのGPS受信方法はスマートフォン各メーカーの取扱説明書を参照してください。

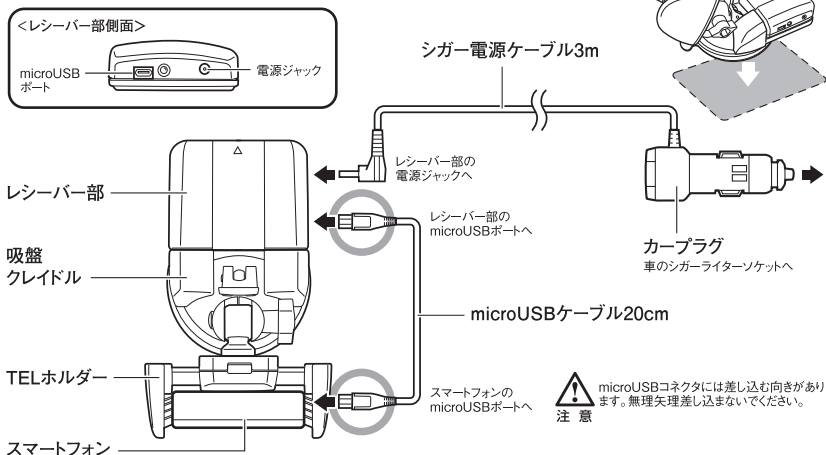
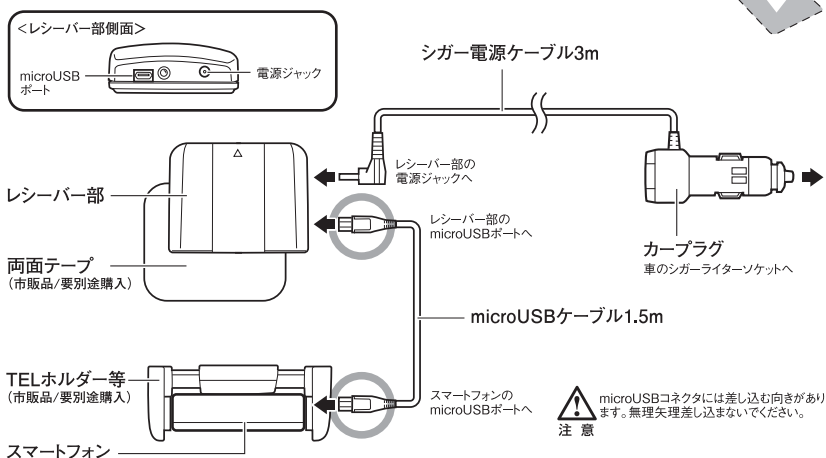
注 意

・一部車種のウインドーに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いため GPS信号や各種無線・レーダー波の受信がしにくかったり、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無はディーラーまたはメーカーにお問い合わせください。
・GPS衛星からの電波が遮られるような場所（トンネル・地下・ビルの間・森の中等）ではGPSが受信されにくい場合があります。
・車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、GPSを測位できなくなることがありますが、故障や不良ではありません。
・初めて起動する時・最後の電源 OFFから長時間経過後に電源 ONした場合・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS受信に時間がかかる場合があります。

3.取り付け方向

接続図

※接続方法は19ページ～を参照してください。

全体図

※スマートフォンにアプリケーションをダウンロードし、本製品を取り付けた後に接続してください。

取付方法

本体を取り付ける

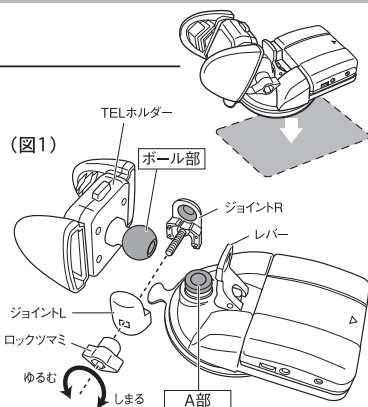
必ず安全な場所に停車して行なってください。

A 吸盤クレイドルで取り付ける場合

ご購入時は、吸盤クレイドルとTELホルダーが分かれた状態で梱包されています。はじめに、吸盤クレイドルにTELホルダーを組み立ててください。（図１）

1 ロックツマミをまわし、左右にゆるめます。

2 ボール部とA部をジョイントL/Rではさみ、ロックツマミを締めます。

注意
・組み立て後、本製品が確実に組み立てられているか必ず確認してください。

■取付方法

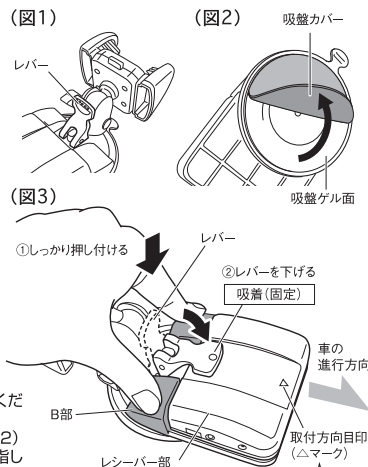
1 取り付け場所の確認をする

注意
・車種によっては本製品の取り付け跡が残ったり、変形したりします。また、日焼けによる周囲との色の差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
・本製品の取り付け場所・各ケーブルの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響・また、車載の電装装置（地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等）・周辺機器の影響を受ける場合があります。その場合は十分間隔をあけて設置してください。
・本製品のアナウンス・警告音は、スマートフォンのスピーカー等の音声出力にゆだねられます。設置場所によっては聞こえにくい場合もあります。
・レシーバー部側面への、シガー電源ケーブル・microUSBケーブルの取り付けに支障がないことを確認してください。

2 取り付け場所の汚れを落とします。

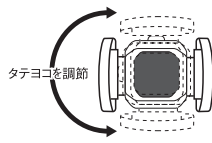
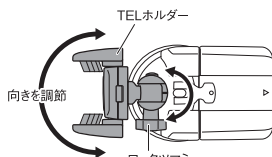
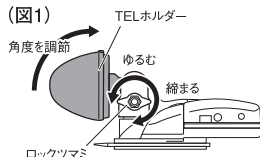
本製品を取り付けるダッシュボード部等のゴミ・汚れ・保護剤等をきれいに取り除き、乾かします。（脱脂作業）

3 本製品を取り付けます。

・本製品のレバーが上がった状態になっていることを確認してください。（図１）
・吸盤クレイドル底面にある吸盤カバーをはずしてください。（図２）
・レシーバー部の取付方向目印（△マーク）が車の進行方向を指していることを確認し（図３）、B部をしっかり押さえ、取り付け場所に吸盤ゲル面を押し付けた後、（図３-①）レバーを下げて吸着させます。（図３-②）

設置は、レシーバー部の取付方向目印（△マーク）が進行方向をさすように取り付けてください。

注意
・吸盤ゲル面に手を触れたり、ホコリ等を付けたりしないようご注意ください。
・吸盤を押さえる際は必ずB部を押さえてください。レシーバー部やその他の場所を押さえると破損の原因となります。
・取り付け後、本製品が確実に取り付けられているか必ず確認してください。

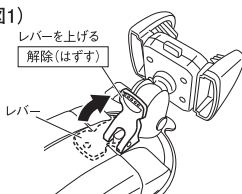
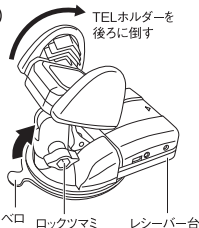
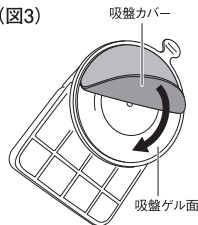
■角度調節方法 ※必ずスマートフォンをはずした状態で行なってください。

1 ロックツマミを少し緩めた状態でTELホルダーの角度と向き･タテヨコを調節した後、ロックツマミをしっかりと締め固定します。（図1）

注 意
・TEL ホルダーが前傾になっている状態で使用しないでください。（図 2）
・TEL ホルダーの向きにご注意ください。（図 3）
・ロックツマミを緩めずに角度調節を行なったり、無理な力を加えたり、引っぱったりしないでください。破損・故障の原因となります。
・スマートフォンをホールドしたまま調節をしないでください。
・定期的にロックツマミの増し締めを行なってください。
・調節後、TEL ホルダーが確実に固定されているか必ず確認してください。

■取りはずし方法 ※必ずスマートフォンをはずした状態で行なってください。

1 本製品のレバーを上げます。（図1）

2 ロックツマミを少し緩めた状態で、TELホルダーを後ろに倒し、ベロを引き上げます。（図2）

3 吸盤ゲル面にホコリ等がつかないよう、必ず吸盤カバーをかぶせてください。（図3）

注 意
・ベロを一気に引き上げますと、レシーバー台が取り付け面に当たり、内装に傷がつくおそれがあります。（図 2）また、車種によっては、ダッシュボードの表面素材強度が弱いものがあります。取りはずしの際は、注意しながらゆっくりと取りはずしてください。

⚠ 警　告 ご使用前に必ずお読みください。

・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作・調節をしたりしないでください。

⚠ 注　意 ご使用前に必ずお読みください。

●本製品に無理な力を加えないでください。破損や変形の原因となります。●本製品の脱落を防ぐため、走行前に本製品がしっかり固定されていることを確認してください。●吸盤ゲル面にホコリやゴミが付き、吸着効果が低下した場合は、スマートフォン・レシーバー部等をはずしてから吸盤ゲル面のホコリやゴミを水で洗い流し、十分に乾かしてご使用ください。その際、シンナー・ベンジン・洗剤を使用したり、無理に力を加えたりしないでください。●本製品がダッシュボード部にしっかりと吸着できない場合は使用を中止してください。●直射日光の当たる場所での長時間の使用や走行中の振動により、本製品がはずれてしまう場合があります。乗車ごとにしっかりと固定されているか確認してください。●本製品装着による車両の取り付け跡や変形についての責任は一切負いかねます。●本製品脱落により生じた事故や本製品およびスマートフォンの破損・故障について当社は一切の責任を負いかねます。●誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因する本製品およびスマートフォン等の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。

取付方法

本体を取り付ける

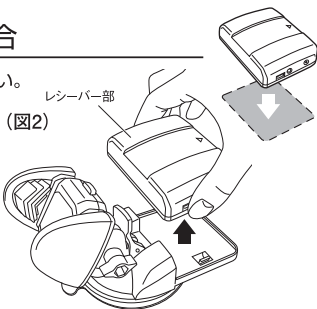
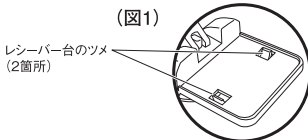
必ず安全な場所に停車して行なってください。

B レシーバー部を切り離して使用する場合

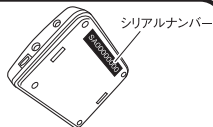
はじめに、吸盤クレイドルからレシーバー部を取りはずしてください。

レシーバー部は、レシーバー台のツメ２箇所で止められています。
（図１）レシーバー部側面を持ち、左右に揺らしながらゆっくりと引き上げてください。（図２）

（図1）

（図2）

注 意

レシーバー部底面には、本製品のアプリケーションを使用するための大切なシリアルナンバーが貼ってあります。レシーバー部を取り付けると、この番号が確認できなくなるため、SA から始まる８桁の番号をお控えください。

SA00000000

■取付方法

本製品以外に必要な物	●両面テープ：１枚（市販品／要別途購入） （70mm×50mm 程度でダッシュボードにしっかり貼り付けができる物）

1 取り付け場所の確認をする

注 意

・車種によっては本製品の取り付け跡が残ったり、変形したりします。また、日焼けによる周囲との色の差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
・本製品の取り付け場所・各ケーブルの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響・また、車載の電装装置（地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC 装置等）・周辺機器の影響を受ける場合があります。その場合は十分間隔をあけて設置してください。
・レシーバー側面への、シガー電源ケーブル・microUSB ケーブルの取り付けに支障がないことを確認してください。

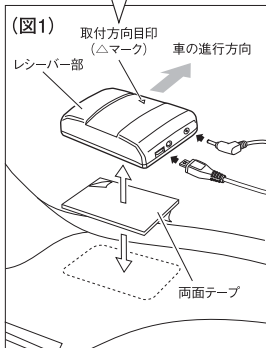
設置は、レシーバー部の取付方向目印（△マーク）が進行方向をさすように取り付けてください。

（図1）

2 取り付け場所の汚れを落とします。

本製品を取り付けるダッシュボード部のゴミ・汚れ・保護剤等をきれいに取り除き、乾かします。（脱脂作業）

3 レシーバー部を取り付けます。

・レシーバー部の取付方向目印（△マーク）が車の進行方向を指しているか確認してください。（図１）
・レシーバー部底面に両面テープを貼り、ダッシュボードへ一度でしっかりと貼り付けます。（図１）

注 意
・取り付け後、本製品が確実に取り付けられているか必ず確認してください。

<両面テープ貼り付けについての注意事項>

●両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。●両面テープの貼り付け面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。●レシーバー部がしっかり固定されるまで強い力を加えないでください。●車種によっては、ダッシュボードの表面素材強度が弱いものがあります。取りはずしの際は、注意しながらゆっくりと取はずしてください。また、粘着剤が残ってしまった場合は市販のノリはがし剤等をご使用ください。●その他両面テープの特性につきましてはご購入の両面テープ説明書をご覧ください。

⚠警　告　ご使用前に必ずお読みください。

・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作をしたりしないでください。

⚠注　意　ご使用前に必ずお読みください。

●レシーバー部に無理な力を加えないでください。破損や変形の原因となります。●レシーバー部の脱落を防ぐため、走行前にレシーバー部がしっかり固定されていることを確認してください。●直射日光の当たる場所での長時間の使用や走行中の振動により、レシーバー部がはずれてしまう場合があります。乗車ごとにしっかりと固定されているか確認してください。●レシーバー部装着による車両の取り付け跡や変形についての責任は一切負いかねます。●レシーバー部脱落により生じた事故やレシーバー部の破損・故障について当社は一切の責任を負いかねます。●誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因するレシーバー部の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。

接続の前に

配線に関するご注意

[ケーブル類の配線について]

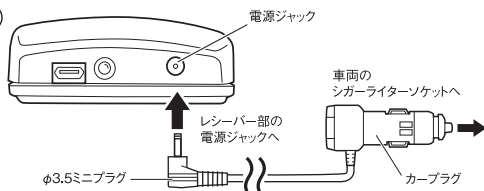
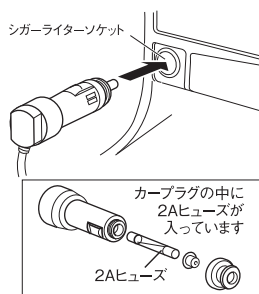
・ケーブルの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所・突起物として危険の生じる場所・安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所には取り付けないでください。余分なケーブル類はビニールテープ等でしっかり束ねてください。
・ウインカーレバー・シフトレバー・コラムシフト・ワイパーレバー・ドア・ピラー等と干渉する場合は取り付けできません。
・配線後、車の可動部への接触や噛み込みがないことを確認してください。
・ケーブルを束ねる際は、ノイズ等の影響を極力避けるため、各ケーブルごとに束ねてください。
・各ケーブルの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響・また、周辺機器の影響を受ける場合があります。

接続方法

ケーブル類の接続

必ず安全な場所に停車して行なってください。

※本製品を取り付けた後に接続してください。「接続の前に」（19ページ）をよくお読みになり、正しく接続してください。

■シガー電源ケーブル接続方法

1 車のエンジンを切った状態（ACCもOFF）で、車のシガーライターソケット内のゴミ等をよく取り除いてください。

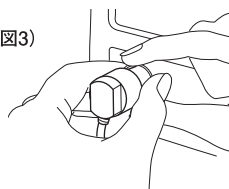
2 シガー電源ケーブルのφ3.5ミニプラグをレシーバー部側面の電源ジャックに差し込みます。（図1）

3 シガー電源ケーブルのカープラグをシガーライターソケットの奥までしっかりと差し込んでください。確実に差し込まれていないと、接触不良やカープラグが溶解するおそれがあります。（図2）

取付方法（つづき）

注 意

・カープラグは落下防止のため、固めの設計になっています。カープラグをシガーライターソケットから抜く際は、車のエンジンを切り（ACCもOFF）、ケーブルを持たずにカープラグを持って、指でシガーライターソケットを押さえながら徐々に抜いてください。（図3）

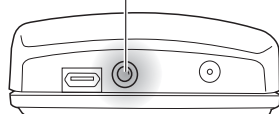
（図3）

注 意

［シガーライターソケットについて］
・シガーライターソケットが装備されていない車には取り付けできません。
・本製品はシガーライターソケットの内径φ21mm以上φ22未満の車種に使用できます。
・シガーライターソケットが浅い車種（35mm以下）や、形状が特殊な車（外車等）には使用できない場合があります。
・一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わない場合があります。
・シガーライターソケットが収納式（灰皿内部等）になっている車種は本製品を差し込んだままでは収納できなくなります。
・キーを抜いてもシガーライターソケットの電源が切れない車種で車から離れる場合は、必ずカープラグをシガーライターソケットから抜いてください。
・カープラグをシガーライターソケットに差し込んだまま回転させないでください。抜けなくなったり、破損する場合があります。

【通電の確認】

シガー電源ケーブルを接続したら配線に異常がないか確認し、車のエンジンをかけ、本製品に通電がされているか確認してください。

※通電は、レシーバー部側面にあるペアリング（通電）確認LEDが青色にゆっくり点滅することで確認できます。

通電確認／Bluetoothペアリング待機中	青色点滅
Bluetooth接続状態	青色点灯
通信中	赤色点灯／点滅

通電が確認されない場合には、次の点を点検してください。
・シガーライターソケットとカープラグのゆるみ
・ケーブル類の接続
・車、またはカープラグ内のヒューズ

注 意

・LEDの光を直視しないでください。
・周囲が明るいと通電ランプの色がわかりにくい場合があります。

ケーブル類の接続

必ず安全な場所に停車して行なってください。

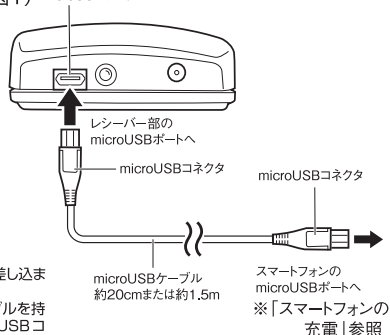
※本製品を取り付けた後に接続してください。「接続の前に」（19ページ）をよくお読みになり、正しく接続してください。

■microUSBケーブル接続方法

A 吸盤クレイドルで取り付ける場合
microUSBケーブル約20cmをご使用ください

B レシーバー部を切り離して使用する場合
microUSBケーブル約1.5mをご使用ください

1 車のエンジンを切った状態（ACCもOFF）で、microUSBケーブルのmicroUSBコネクタをレシーバー部側面のmicroUSBポートの奥までしっかりと差し込んでください。（図1）

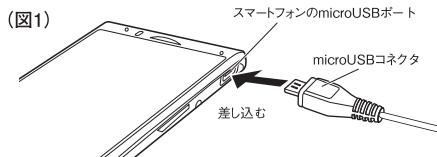
注意
・microUSB コネクタには差し込む向きがあります。無理矢理差し込まないでください。
・microUSB コネクタを抜く際は、車のエンジンを切り、ケーブルを持たずに microUSB コネクタとレシーバー部を持って、microUSB コネクタをまっすぐ引き抜いてください。

スマートフォンの充電

ケーブル類の接続

必ず安全な場所に停車して行なってください。

「接続の前に」（19ページ）をよくお読みになり、正しく接続してください。

■microUSBケーブルをスマートフォンに接続する

安全にご使用いただくために、スマートフォンの電源を必ずOFFにします。スマートフォンのmicroUSBポートに、本製品のmicroUSBコネクタを奥までしっかりと差し込み、充電が開始されているか確認してください。（図1）

注意
・microUSB コネクタには差し込む向きがあります。無理矢理差し込まないでください。
・無理に差し込んだり、引き抜いたり、傾いたり、差し込み不良があるとメモリーデータ破損や消失・故障の原因となります。
・スマートフォンを接続したままエンジンをかけたり切ったりしないでください。

■取りはずし方法

安全にご使用いただくために、スマートフォンの電源を必ずOFFにします。
スマートフォンのmicroUSBポートから、本製品のmicroUSBコネクタを抜いてください。
※スマートフォンによっては、充電中電源をOFFにできない機種があります。

注意
・microUSBコネクタを抜く際は、ケーブルを持たずにmicroUSBコネクタとスマートフォンを持って、microUSBコネクタをまっすぐ引き抜いてください。

⚠警　告　ご使用前に必ずお読みください。

・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作をしたりしないでください。

⚠注　意　ご使用前に必ずお読みください。

・本製品のスマートフォンの充電は、アプリケーションやGPSなどの機能を連続して作動させるためのものであり、スマートフォンの電池量を満充電にするものではありません。
・必ず、スマートフォンの電源をOFFにしてからmicroUSBコネクタの接続・取りはずしを行なってください。
・機種によっては、充電しながら音楽再生やインターネット機能が使用できない場合があります。
・スマートフォンの取扱方法・注意事項に関してはスマートフォンの説明書をご参照ください。スマートフォンの不具合に関しては当社は一切の責任を負いかねます。
・本製品の使用によるスマートフォンの破損・内部および接続されたメモリーデータの破損や消失に関する責任は一切負いかねます。
・スマートフォンでFeliCa機能を使用し、電源が入らない等、万一スマートフォンに不都合が生じた場合、FeliCa機能が使用できなくなる可能性があります。その場合、IC内のデータやチャージマネーの保全・サービスの回復作業に関し、当社では一切の責任を負いかねます。この作業はお客様個人以外行なえません。FeliCa機能を使用される場合は、事前に十分充電をしておいてください。また、本製品を接続したままこれらの使用はおやめください。
・機種によっては純正の充電器を使用した場合とLED表示／画面表示が異なる場合があります。
・microUSBポートにスマートフォンを接続している時に、レシーバー部の通電確認LEDが消えた場合は、直ちにmicroUSBポートからコネクタを抜いて下さい。コネクタを抜いた後に通電確認LEDが再度点灯した時は、スマートフォンのショートや故障等が発生している場合があります。
・一部の機種では電池残量がゼロ（電池アラームが鳴って電池が切れた場合）の状態では充電ができない場合があります。純正の充電器で5～10分程度充電してから使用してください。
・機種によっては充電してもスマートフォン側の充電レベルが表示しない・変化しない・満充電にならない場合があります。
・本製品の充電は2時間までにしてください。充電されるスマートフォンのバッテリー寿命の低下につながるおそれがあります。また、microUSBコネクタの抜き忘れによるスマートフォンの破損等の原因となります。
・スマートフォンの電池パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池パックへの交換をおすすめします。
・30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がらない場合があります。
・本製品・スマートフォン・電池パックが高熱になった場合や発煙・ショートがあった場合には直ちにご使用をおやめください。
・その他スマートフォンの取扱方法・注意事項に関してはスマートフォンの説明書をご参照ください。スマートフォンの不具合に関しては当社は一切の責任を負いかねます。

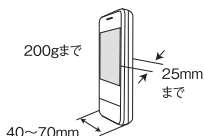
スマートフォンのホールド

TELホルダー使用方法

必ず安全な場所に停車して行なってください。

A 吸盤クレイドルで取り付ける場合

吸盤クレイドル固定可能スマートフォンサイズ

●充電器・イヤホンマイク・ハンドストラップ・スマートフォン保護カバーをつけた状態ではスマートフォンをホールドできない場合があります。●ホールドする機種・位置によってはスマートフォン側面のボタンを押したり、端子をふさいでしまう場合があります。●一部、特殊なサイズ・形状・開閉機能があるスマートフォンはホールドできない場合があります。●折りたたみ式スマートフォンを開いた状態ではホールドできません。

B レシーバー部を切り離して使用する場合

本製品以外に必要な物
●TELホルダー等、スマートフォンを固定するもの：1個（市販品／要別途購入）
（GPS受信がしやすい場所にスマートフォンを固定できる物）

市販TELホルダー等でスマートフォンを固定する場合は、市販TELホルダー等の取り付け説明書・スマートフォン固定方法等を参照してください。

スマートフォンのホールド(つづき)

■スマートフォンのホールド方法

1 プッシュボタンを押してアームを開きます。(図1)

2 スマートフォンをB部に当てた状態で、アーム両方のC部を押し、スマートフォンをホールドします。(図2)その際、スマートフォンが確実にホールドされているか確認してください。

3 スマートフォンを取りはずす際は、スマートフォンを手で持った状態でプッシュボタンを押し、アームを開いてください。(図1)

(図1)

(図2)

注 意

・目安として200gを超えるスマートフォンのホールドはおやめください。
・ホールド位置によっては、安定性が悪く、車の振動等で左右に回転することがあります。重心が安定する部分でホールドしてください。(図3)
・本体が前傾になっている状態でスマートフォンをホールドしないでください。(図4)
・スマートフォンをホールドしたまま角度調節はしないでください。
・スマートフォンを脱着する際は必ずプッシュボタンでアームを開いてから行なってください。無理に脱着すると破損の原因となります。
・脱着する際、スマートフォンが落下しないように注意してください。

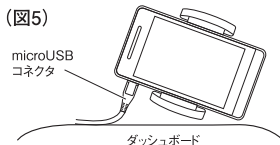
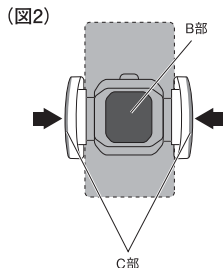
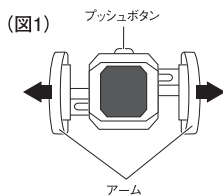
(図3)

安定性が悪い

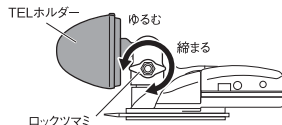
重心が安定する部分でホールドする

(図4)

本体が前傾の状態

注 意

・スマートフォンのmicroUSBポートの位置によっては、TELホルダーにホールド出来ない場合があります。そのような場合には「レシーバー部を切り離して使用する場合」を選択ください。(13ページ)
・TELホルダーの角度によりmicroUSBコネクタがダッシュボードに干渉したり(図5)、ケーブルが邪魔になったりする場合があります。そのような場合には一旦スマートフォンをTELホルダーからはずし、TELホルダーの角度調節をしてください。(17ページ)

(図5)

TELホルダーの角度調節は、吸盤クレイドルのロックツマミを少し緩め、調節します。角度調節する際は、必ずスマートフォンをはずした状態で行なってください。(17ページ参照)

⚠警 告 ご使用前に必ずお読みください。

・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作・調節をしたりしないでください。

⚠注 意 ご使用前に必ずお読みください。

●急発進・急ブレーキ・急ハンドル・カーブ・悪路・段差の激しい路上を走行する時には、スマートフォンを本製品からはずしてください。そのままご使用になると、スマートフォンの脱落の原因となります。●本製品に無理な力を加えたり、引っぱったりしないでください。破損や変形の原因となります。●スマートフォンの脱落を防ぐため、走行前にスマートフォンがしっかり固定されていることを確認してください。●窓を閉め切った車内・直射日光の当たる状況下では使用・保管・放置しないでください。変形・故障・電池パック異常の原因となります。また、スマートフォン本体の一部が熱くなり、火傷の原因となります。そのような場合にはスマートフォンをはずしてください。●車から離れる際はスマートフォンを車内に設置したままにしないでください。盗難や、車内温度による故障の原因となります。●スマートフォン脱落により生じた事故や本製品およびスマートフォンの破損・故障について当社は一切の責任を負いかねます。●ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車に設置する際にはご注意ください。●使用状況によりスマートフォンにすり傷等が付く場合があります。●正しくホールドされなかった場合や、悪路等大きな振動があった場合には、スマートフォンがはずれる場合があります。また、走行中の振動・衝撃等によりスマートフォンにブレが生じる場合があります。●長時間ホールドすると、本製品の跡が残る場合があります。●本製品による取り付け跡や変形についての責任は一切負いかねます。●誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因する本製品およびスマートフォン等の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。●その他スマートフォンの取扱方法・注意事項に関してはスマートフォンの説明書をご参照ください。スマートフォンの不具合に関しては当社は一切の責任を負いかねます。

起動とセットアップ

アプリケーションの起動

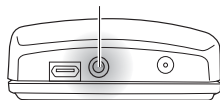
必ず安全な場所に停車して行なってください。

アプリケーションの起動は、下記の手順になります。

1 通電・充電の確認(24ページ)
↓
2 スマートフォンの音量調節(24ページ)
↓
3 スマートフォンのBluetooth・GPSの起動(24ページ)
↓
4 アプリケーションの起動・GPS測位の確認(25ページ)
↓
5 Bluetoothペアリングの確認(25ページ)
(設定や手動での接続が必要な場合…26ページ)

1 通電・充電の確認

車のエンジンをかけ、レシーバー部側面にあるペアリング(通電)確認LEDが青色にゆっくり点滅している事を確認し、スマートフォンに充電がされているか確認してください。
※ACCの状態では起動とセットアップをしないでください。エンジンをかけた際に電源が再通電されるため、セットアップが再度必要になる場合があります。

ペアリング(通電)確認LED

通電確認/ Bluetoothペアリング待機中	青色点滅
Bluetooth接続状態	青色点灯
通信中	赤色点灯/点滅

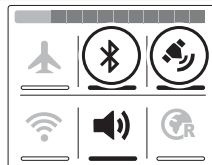
注意
・LEDの光を直視しないでください。
・通電が確認できないときは・・・→20ページ
・機種によっては純正の充電器を使用した場合とLED表示/画面表示が異なる場合があります。
・本製品を使用する際には、車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

2 スマートフォンの音量調節

アプリケーションの起動時には音が出ます。アプリケーションの音量は工場出荷時にはMAXに設定されているため、起動時に大音量が出る場合がありますので、スマートフォンの音量(メディア音量)を普段より若干小さく設定してください。
※スマートフォンの音量設定で設定された音量が、アプリケーション側のMAX音量となります。

3 スマートフォンのBluetooth・GPSの起動

スマートフォンのBluetooth・GPSを起動し、スマートフォンの画面にBluetooth・GPSマークが表示されているか確認してください。

注意
・GPSは、初めて起動する時・最後の電源OFFから長時間経過後に電源ONした場合・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS測位に時間がかかる場合があります。
・GPS衛星からの電波が遮られるような場所(トンネル・地下・ビルの間・森の中等)ではGPSが受信されにくい場合があります。
・GPSの測位は、障害物等のないGPS測位しやすい場所で行なってください。

スマートフォンのBluetooth・GPS起動

4 アプリケーションの起動・GPS測位の確認

OBINAVIのアイコンを押すと、起動画面から待受画面が表示されます。

『♪シートベルトを確認し 安全運転をお願いします。』とアナウンスされます。

OBINAVI

<起動画面>

<待受画面>

1 アプリケーション起動後、「GPS受信中‥‥」と表示されますので、測位するまでお待ちください。

注意
・GPSは、初めて起動する時・最後の電源OFFから長時間経過後に電源ONした場合・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS測位に時間がかかる場合があります。
・GPS衛星からの電波が遮られるような場所（トンネル・地下・ビルの間・森の中等）ではGPSが受信されにくい場合があります。又、GPSマークが誤作動を起こす場合があります。
・GPSの測位は、障害物等のないGPS測位しやすい場所で行なってください。

2 待受画面上方にあるGPSマークが点灯したらGPS測位完了です。

『♪GPS測位しました』と表示・アナウンスされます。

『♪○月○日○曜日です。』とアナウンスされます。

GPS測位できないときは、GPS測位しやすい場所に移動してください。**➡14ページ**

『♪GPS測位できませんでした』と表示・アナウンスされます。

5 Bluetoothペアリングの確認

スマートフォンとレシーバー部をBluetoothペアリングしてください。このペアリングをすることで、スマートフォンがカーロケなどの各種無線/電波受信の警告を行えるようになります。

1 アプリケーション起動後、本製品レシーバー部の1m以内にスマートフォンを置いてください。（近い方が感知しやすくなります。）

注意
・近くに別のスマートフォン等、Bluetoothを起動させているものがあると、そちらとペアリングすることがありますので、本製品に使用するスマートフォン以外はBluetoothを起動させないでください。

2 待受画面上方にあるBluetoothマークが点灯したらペアリング完了です。

『♪ペアリングを完了しました』とアナウンスされます。

注意
・初めてペアリングする際は、認識に2〜3分程度時間がかかる場合があります。
・一度ペアリングした後は、本アプリケーションを立ち上げると自動で接続されます。（電源を切る前、最後にペアリングしたものと接続されます。）

通電確認／Bluetoothペアリング待機中	青色点滅
Bluetooth接続状態	青色点灯
通信中	赤色点灯／点滅

その他の確認として、レシーバー部側面にあるペアリング（通電）確認LEDが青色に点灯します。通信中は赤色に点灯します。

ペアリング（通電）確認LED

注意

・Bluetoothはバージョン／プロファイルが一致しないと双方向通信ができません。スマートフォンのBluetoothバージョン・プロファイルを事前にご確認ください。
・一度に2台以上のスマートフォンへの同時接続はできません。
・スマートフォンとレシーバー部は、見通し距離で約10m以内で通信してください。コンソール内やカバンの中等、障害物がある場合、通信距離が短くなることがあります。
・無線機や放送局の近く等で正常に通信できない場合は、通信場所を変えてください。
・スマートフォンに複数の機器が既に登録されている時は、本製品と接続状態にあるかご確認ください。
・接続がうまくいかない場合は、一度電源を切ってから再度ペアリングを行なってください。
・操作方法はスマートフォンの機種により異なります。詳しくはお使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。
・本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品の使用に無線局の免許は必要ありませんが、下記の機器等はBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用していたり、近くで本製品を使用すると電波が干渉してそれらの正常な作動を妨げるおそれがあります。その場合はカープラグをシガーライターソケットから抜き、電源を切ってください。
●ペースメーカー等の産業・科学・医療機器等　●自動ドア・火災報知器等　●工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要な無線局）　●電子レンジ・電話の子機等の家電製品　●特定小電力無線局（免許が必要ない無線局）　●IEEE802.11b/g無線LAN機器など

注意

・スマートフォンの機種によっては自動的にペアリングされず、その都度ペアリング設定や手動での作業が必要になる場合があります。
・スマートフォンと他のBluetooth機器を接続した後は再度ペアリングが必要になる場合もあります。
・Bluetooth接続中に車のエンジンを切り、再びかけた場合、再ペアリングが必要になる場合があります。

下記参照

Bluetoothペアリング<ペアリング設定や手動での作業が必要になる場合>

パターン1

待受画面の上にペアリングについての表示がされる

アプリケーションを立ち上げた後、画面上に「OBINAVIとペアリングしますか」という旨の選択肢が出る場合は、YES(ペアリングする)を選択してください。

パターン2

『♪ペアリングできませんでした』と表示・アナウンスされた場合

アプリケーションを立ち上げた後、

1 スマートフォンの**「設定」→「無線とネットワーク」**を選択してください。

2 **「Bluetooth設定」→「端末のスキャン」**を開始します。

3 選択肢の中から**「OBINAVI」**を選択し、ペアに設定してください。

アプリケーション操作

アプリケーションの操作について

警告 運転者は走行中に本製品の操作および画面の注視は絶対にしないでください。交通事故の原因となります。

操作の流れ

- 待受画面へ戻るボタン
- 設定画面へ進むボタン
- 前の画面へ戻るボタン

待受画面

警告画面

警告動作終了後、待受画面に戻ります。

設定画面

各種設定画面

基本設定　受信設定　地点設定

注意
- ・画面を操作する際は、強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。
- ・スマートフォンの液晶に市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに操作できなくなる場合があります。
- ・片手でスマートフォンを押さえながら操作してください。

アプリケーションの終了

OBINAVIを終了する際は、スマートフォン側の戻るボタン をタッチすると、「OBINAVIを終了しますか?」という選択肢が出ますので、「YES」または「NO」を選択してください。

注意
- ・車から降りる際はアプリケーションを終了し、スマートフォンのGPS・Bluetooth機能をOFFにすることをおすすめします。起動させたままにしておくと、電池残量がなくなる場合があります。
- ・キーを抜いてもシガーライターソケットの電源が切れない車種で車から離れる場合は、必ずカープラグをシガーライターソケットから抜いてください。

待受画面

待受画面の見方

1.待受画面

OBINAVI起動後、この待受画面になります。

画面説明

GPS受信状況

GPSを受信すると点灯します。
参照→25ページ

未受信状態

カーロケ状況

カーロケを受信している間点灯します。
参照→33ページ

圏外の状態

Bluetoothペアリング状態

スマートフォンとレシーバー部が
Bluetoothペアリングされると点灯します。
参照→25ページ

未ペアリング
状態

レーダー感度設定状態

設定されているレーダー感度をAUTO／LOW／MID／HIGHで
表示します。参照→36ページ

道路選択設定状態

設定されている道路をCITY／HIGH／ALLで表示します。
参照→35ページ

スクールゾーン表示

スクールゾーン内に入ると点灯します。
参照→32ページ

駐車違反取締区域表示

駐車違反取締区域内に入ると点灯します。
参照→32ページ

日付表示

月･日･曜日･時刻を表示します。

地点登録ボタン

ボタンを押すと、その場所の緯度･経
度･進行方向情報を記録します。
参照→37ページ

TOPボタン

警告画面表示中に待受画面を表示します。

設定ボタン

設定画面を表示します。

ミュートボタン

ワンタッチで音のON/OFFができます。

音声OFF状態

警告画面

警告画面の見方

2.警告画面

GPS警告ポイントに近付いたり、各種無線／電波を受信すると、各警告画面が表示されます。

画面説明

カメラ位置表示（取締機の場合のみ表示します）
取締機に設置されているカメラの位置を、進行方向のどちら側にあるかを表示します。

正面 右側 左側

走行速度表示
現在の走行速度を、GPS測位から算出し、表示します。

警告対象表示
取締機などの警告対象の名前を表示します。
参照→30ページ～（警告の種類）

警告対象までの距離表示
現在走行している地点から取締機等の警告対象までの距離を表示します。

警告対象までの距離表示
現在走行している地点から取締機等の警告対象までの距離をバーの長さで表示します。

TOPボタン
待受画面を表示します。

設定ボタン
設定画面を表示します。

ミュートボタン
ワンタッチで音のON/OFFができます。

音声OFF状態
注意

・走行速度表示は、GPS測位から算出され表示されるため、実際の数値と異なる場合があります。又、トンネル内等のGPS未受信の時は走行速度表示が正確に表示されません。運転中は必ずスピードメーターで速度を確認してください。
・GPSポイントを認識した地点によっては、警告対象までの距離が実際と異なる場合がありますのでご注意ください。
・警告対象までの距離表示･アナウンスは、実際の数値と異なる場合があります。

警告色

本製品は、警告対象の危険度に合わせ、判断しやすいように色により区別しています。各警告対象の色表示は30ページ～を参照してください。

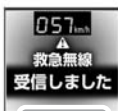
高 ← 危険度 → 低

赤色

紫色

黄色

緑色

注意

・この色区別は任意に変更できません。

GPS警告の種類

速度取締機（LHシステム･ループコイル･Hシステム･レーダー式オービス）の警告の仕方

4段階警告

高速道路の場合、速度取締機などの2km手前から、最大4回警告します。

<Hシステムの例>

2km手前

画面は赤色で警告します。

『♪2km先　高速道路　Hシステムがあります　注意してください。』

1km手前

画面は赤色で警告します。

『♪1km先　高速道路　Hシステムがあります　注意してください。』

500m手前

画面は赤色で警告します。

『♪500m先　高速道路　Hシステムがあります　注意してください。』

200m手前

画面は赤色で警告します。

『♪カメラは右側（正面または左）です。　通過速度は100km/h以下です。』

LHシステム（速度取締機）

複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

カメラ位置警告あり

ループコイル（速度取締機）

複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

カメラ位置警告あり

Hシステム（速度取締機）

赤色警告

違反車両をデジタルカメラで撮影します。

カメラ位置警告あり

レーダー式オービス（速度取締機）

レーダー波を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

注意

- 警告は直線の場合、最大4回警告します。直線ではない場合や一般道路の警告は3段階･2段階･1段階になる場合があります。
- 警告は2km/1km/500m/200m手前でアナウンスしますが、GPSポイントを認識した地点によっては、警告対象までの距離が実際と異なる場合がありますのでご注意ください。（GPSポイントを受信した地点が警告対象の800m手前であった場合でも『1km先』というアナウンスが出る場合があります。）
- 通過速度履歴の速度表示は、各取締機設置位置の約200m手前での速度であり、取締機通過時の速度ではありません。また、GPS測位から算出され表示されるため、実際の数値と異なる場合があります。
- 本製品はトンネル内のオービスには対応していません。
- 画面デザインは実際のものとは異なる場合があります。

GPS警告の種類（つづき）

Nシステム・取締ポイント・地点登録ポイントの警告の仕方

2段階警告　　警告対象の1km手前・500m手前で警告します。

<取締ポイントの例>

1km手前

画面は赤色で警告します。

『♪1km先　高速道路（または一般道路）　取締ポイントがあります　注意してください。』

500m手前

画面は赤色で警告します。

『♪500m先　高速道路（または一般道路）　取締ポイントがあります　注意してください。』

Nシステム

紫色警告

盗難車両の発見や重大事件検挙のため、自動でナンバーを読み取ります。Nシステムは紫色警告です。

注意

・本製品のNシステムの警告はあらかじめ登録されたデータを基にされるもので、赤外線をキャッチし、警告するものではありません。あらかじめご了承ください。

取締ポイント

赤色警告

速度取締が行なわれている可能性が高いポイントです。

注意

・取締ポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りが行なわれていることに対しての警告ではありません。また、警告の前後で取締りを行なっている場合もあります。

地点登録ポイント（任意ポイント）

赤色警告　紫色警告　黄色警告　緑色警告

任意の場所で待受画面にある『地点登録ボタン』を押すとその場所の緯度・経度・進行方向情報を記録します。（最大100件）登録した地点で警告が出せるようになります。（37ページ）

※警告対象の1km手前・500m手前で警告します。

※登録した地点ごとに、出したい警告色を編集できます。（39ページ）

注意

・ポイントが複数隣接している場合は、アナウンスと実際の距離表示が異なる場合があります。

サービスエリア・パーキングエリアの警告の仕方

2段階警告　　警告対象の2km手前・1km手前で警告します。

<サービスエリアの例>

2km手前

画面は緑色で警告します。

『♪2km先　高速道路　サービスエリアがあります。』

1km手前

画面は緑色で警告します。

『♪1km先　高速道路　サービスエリアがあります。』

サービスエリア・パーキングエリア

緑色警告

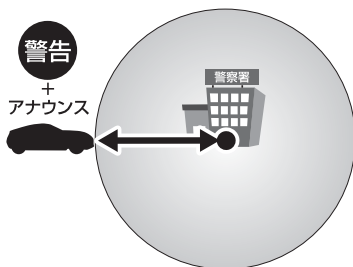
サービスエリア・パーキングエリアの手前でお知らせします。

注意

・距離表示はエリア入り口までの距離ではなく、エリア中心部までのものです。

警察署・駐車違反取締区域・スクールゾーン・道の駅の警告の仕方

範囲警告

警告対象圏内に入ると警告します。

警察署

紫色警告

警察署の500m手前で警告します。

『♪500m先　一般道路
警察署が　あります
注意してください。』

注 意 ・移動・新設等があった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

駐車違反取締区域

紫色警告

駐車違反取締区域に入ると警告します。

『♪駐車違反取締区域に入りました
注意してください。』

駐車違反取締区域内では、待受画面に駐車違反取締区域表示が点灯します。駐車違反禁止区域から出ると消灯します。

注 意 ・本製品に登録されている駐車違反取締区域は、各警察署から公表されている「駐車監視員活動ガイドラインマップ」より作成しています。したがって駐車禁止の標識やその他標識の設置場所・駐車禁止の指定場所であっても、全ての駐車違反取締区域が警告されるわけではありませんので、必ず指定の標識等に従ってください。

スクールゾーン

緑色警告

スクールゾーンの200m手前で警告します。

『♪スクールゾーンに入りました
注意してください。』

スクールゾーン内では、待受画面にスクールゾーン表示が点灯します。スクールゾーンから出ると消灯します。

道の駅

緑色警告

道の駅の500m手前で警告します。

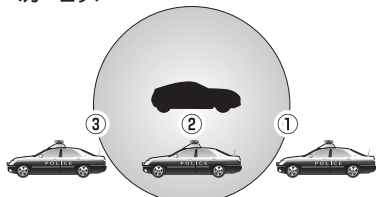
『♪500m先　一般道路
道の駅があります。』

無線警告の種類

カーロケの警告の仕方

範囲警告

警告対象を認識すると警告します。

<カーロケ>

カーロケを受信すると、30秒ごとに受信の有無を再確認します。受信を確認すると『カーロケ　接近中』の案内をし、受信ができなくなった場合は『カーロケ　遠ざかりました』の案内をします。

082km/h カーロケ 受信しました

①カーロケ受信　画面は赤色で警告します。

『♪カーロケを　受信しました　注意してください』

062km/h カーロケ 接近中

②カーロケ接近　画面は赤色で警告します。

『♪カーロケ　接近中　注意してください』

068km/h カーロケ 遠ざかりました

③カーロケ(弱)受信　画面は赤色で警告します。

『♪カーロケ　遠ざかりました　注意してください』

カーロケ

赤色警告

警察関係車両等に搭載された自動車位置送信システムです。
カーロケを受信すると警告します。
(設定:36ページ)

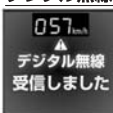
カーロケを受信している間、待受画面のカーロケ状況が点灯します。カーロケの受信ができなくなると消灯します。

・カーロケーターシステムは、全ての警察関係車両に搭載されているわけではありません。また、搭載されていても常時電波を発信していません。
・カーロケーターシステムの受信については、導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

各種無線警告の仕方

受信警告

警告対象を受信すると警告します。

『♪○○を　受信しました　注意してください』

350.1MHz	署活系無線	デジタル無線	WIDE無線	取締特小無線	警察活動無線
056km/h 350.1MHz 受信しました	057km/h 署活系無線 受信しました	057km/h デジタル無線 受信しました	075km/h WIDE無線 受信しました	075km/h 取締特小無線 受信しました	075km/h 警察活動無線 受信しました
赤色警告	紫色警告	紫色警告	紫色警告	紫色警告	紫色警告

注 意
・署活系無線はチャンネル数が多く、使用頻度も高いため、連続的な受信や頻繁な受信がされる場合があります。

無線警告の種類(つづき)

『♪○○を　受信しました』

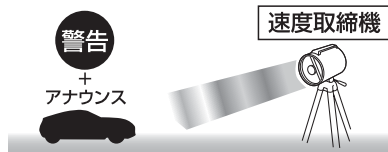
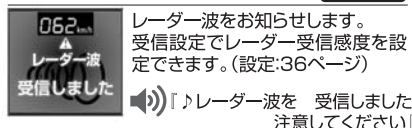
救急無線	消防無線	レッカー無線	JH無線	警備無線
057km/h 救急無線 受信しました	057km/h 消防無線 受信しました	075km/h レッカー無線 受信しました	075km/h JH無線 受信しました	075km/h 警備無線 受信しました
黄色警告	黄色警告	緑色警告	緑色警告	緑色警告

注意
・レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または頻繁に受信する場合があります。
・本製品は、一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのため、それ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。

レーダー波警告の種類

レーダー波・ステルスの警告の仕方

受信警告

警告対象を受信すると警告します。

レーダー波

レーダー波をお知らせします。
受信設定でレーダー受信感度を設定できます。(設定:36ページ)

『♪レーダー波を　受信しました
注意してください』

ステルス

瞬時のレーダー波を受信した時にお知らせします。

『♪ステルスを　受信しました
注意してください』

注意
・待機時には電波を出さず、対象の車が近くに来るまで電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。そのため、感知できなかったり、通過後に警告が鳴る場合がありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・反対車線のレーダー波を受信した場合は、警告画面+お知らせする程度の警告音が鳴ります。

基本設定

「基本設定」では、音量設定やACCなどの基本的な設定が行なえます。

待受画面
警告画面 → 設定画面 → 基本設定

※設定は効果音が出ます。
※電源を切っても各設定は保存されます。

スクロールバー
このバーを押さえながら上下にスクロールさせ、設定項目を表示させます。

スライドボタン
このボタンを押さえながら左右にスライドさせ、設定します。

通過速度履歴確認ボタン
速度取締機を通過した時の通過速度を確認できます。
最新に計測された速度を最大5件メモリーします。
※6件目からは1件目のメモリーが上書きされます。

右上の「×」ボタンを押すと表示が消えます。

戻るボタン
前の画面へ戻ります。※この場合は設定画面に戻ります。

設定項目

音量

工場出荷時:MAX

スマートフォンのスピーカーからの音量をOFFからMAXまでの7段階で調節することができます。
※スマートフォンの音量設定で設定された音量が、アプリケーション側のMAX音量となります。

（消音）**OFF** ━━ **MAX**（大きい）

道路選択

工場出荷時:ALL

取締機やGPSポイントの警告／案内の対象を「CITYWAY･HIGHWAY･ALL」から選択することができます。
設定すると、待受画面の道路選択設定状態に表示されます。

注意 道路選択設定を変更すると、各道路選択設定の持つ規定値が優先され、任意で設定した内容は規定値に変更されます。（41ページ）

CITY	一般道路に設置されたGPSポイントの警告／案内をする
HIGH	高速道路に設置されたGPSポイントの警告／案内をする
ALL	全ての道路のGPSポイントの警告／案内をする

AAC（オートアラームキャンセル）

工場出荷時:40km/h

GPSの車速データを基に、設定速度以下での走行時は、レーダー受信警告音をカットすることができます。

注意
･AAC機能は、GPSを測位している時のみ有効です。
･AAC機能は、レーダー受信警告音をカットするもので、GPS警告･無線警告音はカットできません。

40km/h	40km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット
50km/h	50km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット
60km/h	60km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット
解除	走行速度に関係なく、レーダー受信警報音が鳴る

通過速度履歴

工場出荷時:-

通過速度履歴項目の「確認する」ボタンを押すと、速度取締機を通過した時の通過速度を確認できます。最新に計測された速度を最大5件メモリーします。

注意
･通過速度履歴の速度表示は、各取締機設置位置の約200m手前での速度であり、取締機通過時の速度ではありません。また、GPS測位から算出され表示されるため、実際の数値と異なる場合があります。
･工場出荷時への完全初期化をすると通過速度履歴データは消去されます。

時報

工場出荷時:ON

1時間ごとに時報をお知らせします。設定:ON/OFF

受信設定

「受信設定」では、GPS ポイントや各種無線／レーダー波受信の全設定ができます。

待受画面
警告画面 → 設定画面 → 受信設定

※設定は効果音が出ます。
※電源を切っても各設定は保存されます。

❶スクロールバー
このバーを押さえながら上下にスクロールさせ、設定項目を表示させます。

❷スライドボタン
このボタンを押さえながら左右にスライドさせ、設定します。

❸戻るボタン
前の画面へ戻ります。※この場合は設定画面に戻ります。

設定項目

レーダー感度
工場出荷時：AUTO

レーダー波の受信感度を設定できます。AUTO(オート感度)･LOW(低感度)･MID(普通感度)･HIGH(高感度)の4段階から選択します。設定すると、待受画面のレーダー感度設定状態に表示されます。

レーダー感度ごとの感度レベル

感度	感度レベル
AUTO	車速情報により自動切替
LOW	低感度
MID	普通感度
HIGH	高感度

AUTO設定時の感度レベル

速度(車速情報)	感度	感度レベル
30km/h以下	LOW	低感度
31～50km/h	MID	普通感度
51km/h以上	HIGH	高感度
未測位	HIGH	高感度

※未測位とは、GPSサーチ中･電源ON直後のことです。

カーロケ
工場出荷時：HIGH

カーロケ無線の受信感度の設定／解除をします。解除(受信しない)･LOW(低感度)･MID(普通感度)･HIGH(高感度)の4段階から選択します。解除以外は、カーロケを受信している間、待受画面のカーロケ状況が点灯します。

オービス
工場出荷時：ON

オービス(速度取締機)の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

Nシステム
工場出荷時：ON

Nシステムの警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

350.1MHz
工場出荷時：ON

350.1MHzの警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

署活系無線
工場出荷時：ON

署活系無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

デジタル無線
工場出荷時：ON

デジタル無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

WIDE無線
工場出荷時：ON

WIDE無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

取締特小無線
工場出荷時：ON

取締特小無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

警察活動無線
工場出荷時：ON

警察活動無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

取締ポイント
工場出荷時：ON

取締ポイントの警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

警察署
工場出荷時：ON

警察署の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

ステルス
工場出荷時：ON

ステルスの警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

駐車違反取締区域
工場出荷時：ON

駐車違反取締区域の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

設定項目

項目	内容
救急無線 工場出荷時：ON	救急無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
消防無線 工場出荷時：ON	消防無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
レッカー無線 工場出荷時：ON	レッカー無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
JH無線 工場出荷時：ON	JH無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
警備無線 工場出荷時：ON	警備無線の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
サービスエリア 工場出荷時：ON	サービスエリアの案内を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
パーキングエリア 工場出荷時：ON	パーキングエリアの案内を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
道の駅 工場出荷時：ON	道の駅の案内を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
スクールゾーン 工場出荷時：ON	スクールゾーンの警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定
記録ポイント 工場出荷時：ON	記録ポイント(地点登録ポイント)の警告を『ON(設定)/OFF(解除)』設定

地点登録

「地点登録」は、任意に地点を登録し、警告させることができます。

任意の場所で待受画面にある『地点登録ボタン』を押すと、その場所の緯度･経度･進行方向情報を記録します。（最大100件）※101件目からは1件目のメモリーが上書きされます。
記録は日時で表示されます。

※設定は効果音が出ます。
※電源を切っても各設定は保存されます。

地点登録

地点登録ボタン

待受画面の『地点登録ボタン』を押す

”地点登録中……”
↓
”地点登録しました”と表示されれば登録完了です。

『♪地点登録ポイントを記録しました』とボイスでお知らせします。

※記録イメージ

登録した地点に近づくと警告が出るようになります。
※地図表示はされません。

注意
- ・この機能はGPS測位中のみ有効です。
- ・GPS未測位中に地点登録をした場合、GPSを最終受信していた時の地点が登録されてしまいます。
- ・進行方向情報を記録するため、反対側車線では警告されません。
- ・ポイントとポイントの間は150mの間隔を開けないと記録できません。

地点設定

「地点設定」では、自分で登録した地点の編集・削除や警告のキャンセルができます。

待受画面 警告画面 → 設定画面 → 地点設定

※設定は効果音が出ます。
※電源を切っても各設定は保存されます。

設定項目

現地点の警告解除

登録された警告ポイントで、警告が出ないようにしたい時に押します。
(工場出荷時に登録されている警告ポイントの消去)

<例>
レーダー波警告がされている時に

①設定ボタンを押す →②地点設定を押す →③現地点の警告解除を押す

現地点での警告表示を解除しますか？
YES NO

「現地点での警告表示を解除しますか?」YES/NO

解除する場合は『YES』を選択

”解除中……”
↓
”解除しました”と表示されます。 『♪解除しました』
以後、その地点での警告がされなくなります。

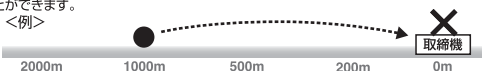
※解除しない場合は『NO』を選択してください。

❶ 戻るボタン

前の画面へ戻ります。※この場合は設定画面に戻ります。

注 意

・この機能はGPS測位中のみ有効です。
・「現地点での警告解除」は、登録された地点を解除するものであり、一度解除したものは初期化をすれば復元できますが、再び警告を出したい時は、その地点で待受画面にある「地点登録」ボタンで再登録することをお勧めします。
・2km/1km/500m/200m手前でアナウンスする段階警告の場合は、警告状態であれば、どの地点でも「現地点の警告解除」をすると、1度の解除で取締機地点の警告を解除することができます。

<例>

各種設定

❶スクロールバー
このバーを押さえながら上下にスクロールさせ、設定項目を表示させます。

❷戻るボタン
前の画面へ戻ります。

設定項目

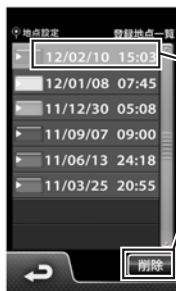
登録地点の編集・削除

自分で登録した地点の編集・削除が行なえます。

『登録地点の編集・削除』を押すと、登録地点の一覧が表示されます。※地点登録していない場合は空欄になります。

地点登録した時の日時が記録されています。
このデータの中には、地点登録した場所の緯度・経度・進行方向情報が含まれています。

カラーボタンで編集
登録時は全て赤色で設定されています。**この色と警告画面の色がリンク**していますので、お好みの警告色に変更してください。
※カラーボタンは何度も押すことで色を変更できます。

■登録地点の削除

①削除したい項目バーを押すと、白く選択されたままになります。

②削除ボタンを押す

「選択中の項目を削除します」YES/NO

削除する場合は『YES』を選択

”削除中……”
↓
”削除しました”と表示されます。
以後、その地点での警告がされなくなります。

『♪削除しました』

※削除しない場合は『NO』を選択してください。

注意
・一度削除した登録地点は復元できません。再び警告を出したい時は、その地点で待受画面にある「地点登録」ボタンを押してください。
・地点登録できる件数は最大100件までです。101件目からは1件目のメモリーが上書きされます。

その他の機能

■反対車線自動キャンセル

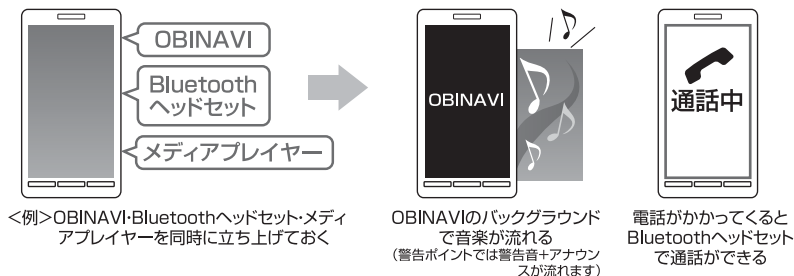
反対車線にレーダー式オービス・Hシステムがある場合、警告音を自動的にキャンセルします。
（画面にはレーダー受信画像が表示されます）

注意
・この機能はGPS測位中のみ有効です。
・この機能は、次の条件を満たす場合にのみ働きます。
【範囲】反対車線取締機の前約500mの区間
【速度】一般道路40km/h・高速道路80km/h以下で走行中

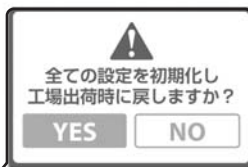
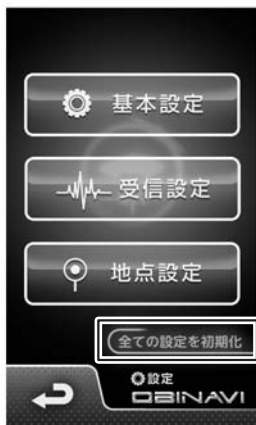
■Bluetoothヘッドセット・他アプリとの併用可能

<例>OBINAVI・Bluetoothヘッドセット・メディアプレイヤーを同時に立ち上げておく

OBINAVIのバックグラウンドで音楽が流れる
（警告ポイントでは警告音+アナウンスが流れます）

電話がかかってくるとBluetoothヘッドセットで通話ができる

注意
・本製品はスマートフォンのGPS機能を使用します。GPS機能を使用する他アプリケーションとの併用はできません。
・他アプリケーションとの併用により、本製品の動作が遅くなったりする場合があります。
・例として、音楽アプリケーションのバックグラウンドでOBINAVIを起動することも可能です。（警告は警告音+アナウンスのみとなります。）

■工場出荷時への完全初期化

本製品の状態を工場出荷時の状態に戻すことができます。
工場出荷時の設定については41ページをご覧ください。

①全ての設定を初期化を押す

「全ての設定を初期化し工場出荷時に戻しますか?」
YES/NO

初期化する場合は『YES』を選択

”初期化中……”
↓
”初期化しました”と表示されます。　『♪初期化しました』

※初期化しない場合は『NO』を選択してください。

注意
・お客様によって設定・保存された内容は、初期化するとデータを復元する事はできません。初期化の操作は十分に注意して行なってください。

各種設定一覧

お買い上げ時（工場出荷時）の設定は以下の通りになっています。各設定項目はお客様の好みに合わせて設定できますが、道路選択設定をすると、道路選択設定の持つ規定値が優先され、お客様が設定した各設定項目も変更されます。

	設定項目	設定			選択肢	ページ
基本設定	道路選択	CITY	HIGH	ALL	CITY/HIGH/ALL	35
	音量	MAX（最大）	MAX（最大）	MAX（最大）	OFF～MAX（7段階）	
	AAC	40km/h	40km/h	40km/h	40km/h/50km/h/60km/h/解除	
	通過速度履歴	—	—	—	通過速度が記録されたら確認できる（最大５件：順次上書き）	
	時報	ON	ON	ON	OFF／ON	
受信設定	レーダー感度	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO/LOW/MID/HIGH	36
	カーロケ	HIGH	HIGH	HIGH	解除/LOW/MID/HIGH	
	オービス	ON	ON	ON	OFF／ON	
	Nシステム	ON	ON	ON	OFF／ON	
	350.1MHz	ON	ON	ON	OFF／ON	
	署活系無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	デジタル無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	WIDE無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	取締特小無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	警察活動無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	取締ポイント	ON	ON	ON	OFF／ON	
	警察署	ON	OFF	ON	OFF／ON	
	ステルス	ON	ON	ON	OFF／ON	
	駐車違反取締区域	ON	OFF	ON	OFF／ON	
	救急無線	ON	ON	ON	OFF／ON	37
	消防無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	レッカー無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	JH無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	警備無線	ON	ON	ON	OFF／ON	
	サービスエリア	OFF	ON	ON	OFF／ON	
	パーキングエリア	OFF	ON	ON	OFF／ON	
	道の駅	ON	ON	ON	OFF／ON	
	スクールゾーン	ON	OFF	ON	OFF／ON	
	記録ポイント	ON	ON	ON	OFF／ON	
地点設定	地点登録	—	—	—	地点を登録します	37
	現地点の警告解除	—	—	—	警告ポイントを削除します	38
	地点登録ポイント警告色	赤	赤	赤	登録したポイントの警告色を選べます 赤／紫／黄色／緑	39

↑ 工場出荷時の状態（ALL）

アフターサービス

GPSデータの更新・各種アップグレード

本製品には、あらかじめGPSポイントのデータが収録されています。
最新のGPSデータへの更新につきましては、

**「androidマーケット」よりデータ更新案内が送られます。
ダウンロードし、更新してください。**

尚、GPSデータ更新・各種アップグレードの際には、お客様による各種設定および登録ポイント等のデータは消去され、工場出荷時の状態に戻る場合もありますので、あらかじめご了承ください。

・アプリケーションのアップグレードサービスは予告なく休止または中止する場合があります。

修理または点検をご依頼いただく際に

保証期間内(お買い上げ日より1年間)の場合は、商品と必要事項が漏れなく記入された保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。
保証期間を過ぎてしまった場合は、お客様のご要望により、有償にて修理いたします。

・保証書に販売店印のない場合は無効となりますので、ご了承ください。

YAC ヤック 株式会社
〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL http://www.yacjp.co.jp

商品に関するお問い合わせは…
お客様相談室 0564-66-0773(直通)
受付時間:月～金(祝祭日除く) 9:30～17:30

主な仕様

■品名：OBINAVI 1
■品番：SA-001

本 体 (吸盤クレイドル+レシーバー部)

■外形寸法：約(W)83(最大時100)×(H)82×(D)165mm
■質量：本体約241g(ケーブル類含まず)
■使用(動作)温度範囲：-10℃～+50℃
※スマートフォンの使用温度範囲は別途ご確認ください。
■受信周波数
[レーダー受信部]
受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン式
受信周波数：Xバンド 10.525GHz
Kバンド 24.200GHz
■GPS受信：スマートフォン内蔵GPS
■Bluetooth
Bluetooth：V2.1+EDR
プロファイル：SPP・OPP
通信距離：約10m以内

付 属 品

■シガー電源ケーブル
電源電圧：DC12V
最大消費電流：約1.0A
内蔵ヒューズ：2A
ケーブル長：約3m
■microUSBケーブル
ケーブル長：約20cm(1本)
約1.5m(1本)
■保証書付き

アプリケーション

■対応OS：android2.2/2.3
スマートフォン専用
■アプリケーションサイズ：約14MB
■推奨画面サイズ：480×800ドット

DC12V車専用

その他

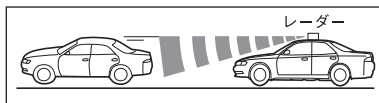
取締りのミニ知識

スピード違反の取締り方法

スピード違反の取締り（速度の測定）方法には、次の3つの方法があります。

●白バイ・パトカーによる追尾方式

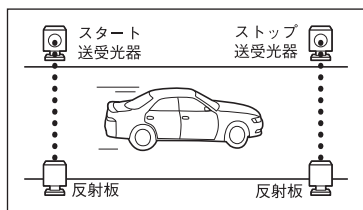
【パトカー車載レーダー】

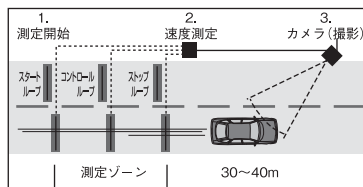
パトカー上部に設置して停車・走行しながら取締りレーダー波を照射し、速度を測定する方法です。

【スピードメーター搭載式】

白バイやパトカーにスピードメーターの指針を固定できる取締り用スピードメーターを搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方法です。

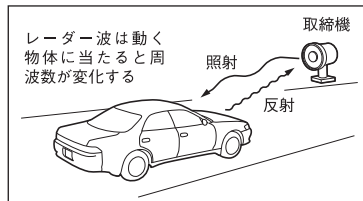
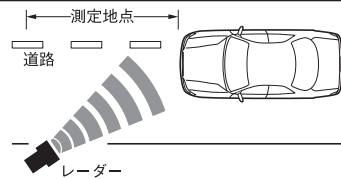
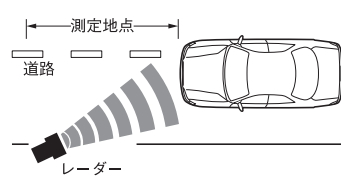
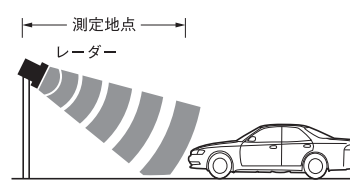
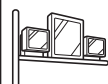
・スピードメーター搭載式の追尾方式は電波を出していないため、受信・警告できません。

●距離と時間から速度を算出する方法

車が一定区間を通過する時間を測定してその車の速度を算出する方法です。測定区間の始めと終わりに設定するセンサーには、赤外線や光電管、ワイヤー式（ループ式）等があります。

【ループコイル式LHシステム】

6.9mの速度測定区間の地中に3本のコイルが埋め込まれており、この区間を何秒で通過したかによって、スピードが割り出され、違反車はカメラで撮影される方式。
一般的にフィルム式カメラを使用するのがループコイル式、CCDカメラを使って写真を電送するのがLHシステムと呼ばれます。

●レーダー波（マイクロ波）を使用して速度を算出する方法

レーダーにはレーダー波（あるいはマイクロ波）と呼ばれる周波数の高い電波が使われています。電波は周波数が高くなるほど直進性が増し、指向性が高くなります。この周波数の高いレーダー波は、動く物体に反射するとその周波数を変化させるという特性を持っていて、それはドップラー効果と呼ばれています。そのドップラー効果を利用して、走行車両の速度を測定するのがレーダー式取締機です。取締機の送受信部から照射されたレーダー波の周波数が変化して戻ってきます。この照射されたレーダー波は、走行車両に反射し、周波数の差を基に車両のスピードを測定するわけです。

レーダー方式には、測定装置を道路際に固定して測定する方法と、パトカーに搭載して移動しながら測定する方法があります。現在スピード違反の取締りは、主にマイクロ波（電波）を利用した「レーダー方式」が採用されています。

取締りレーダーの種類

本製品は下記の取締りレーダー波に反応します。

取締りレーダーの種類・名称	取締り方法
27°垂直偏波	測定地点 道路 レーダー
27°水平偏波	
5°垂直偏波	測定地点 道路 レーダー
円偏波	
ステルス	
オービス 垂直偏波 カメラ付取締機	測定地点 レーダー
オービス 水平偏波 カメラ付取締機	
新型無人取締機（新Hシステム）	
パトカー車載レーダー　パトカー上部に設置し、停車・走行しながら速度を計測する。	レーダー

【ステルス】
待機中には取締りレーダー波を照射せず、違反車と思われる車両が速度測定ゾーンに接近した時、数秒間だけ電波を照射し、走行速度を測定できる取締り機です。計測にあたる警察官が特定車両を狙い撃ちでき、電波の照射は極めて短時間です。

【新型無人取締機（新Hシステム）】
速度の測定や証拠写真の撮影を自動的に行なう無人速度取締機で、「新型オービス」とも呼ばれます。周波数は通常の取締りレーダー波と同じXバンドですが、非常に短い周期で照射（100万分の0.5秒）と停止（100万分の2.5秒）を繰り返す断続波で、しかも指向性が強く、受信されにくい性質を持っています。

故障かな?と思ったら

異常を感じたら、修理のご依頼前に次のことをもう一度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置	ページ
電源が入らない	･シガープラグが奥まで差し込まれていない。 ･シガー電源ケーブルのφ3.5mmプラグが抜けている。	･接続方法をお確かめください。	19･20
	･シガー電源ケーブルのカープラグ内にあるヒューズが切れている。	･ヒューズを交換してください。	19
充電ができない	･シガープラグが奥まで差し込まれていない。 ･シガー電源ケーブルのφ3.5mmプラグが抜けている。	･接続方法をお確かめください。	19･20
	･シガー電源ケーブルのカープラグ内にあるヒューズが切れている。	･ヒューズを交換してください。	19
	･microUSBケーブルがきちんと差し込まれていない。	･接続方法をお確かめください。	21
Bluetoothがペアリングできない	･スマートフォンのBluetoothバージョンおよびプロファイルが本製品と異なる。	･バージョンおよびプロファイルが異なるスマートフォンでは使用できません。	9
	･スマートフォンと本製品が接続状態になっていない。	･ペアリングが完了しても、スマートフォン側で本製品と接続しないと使用できない機種があります。スマートフォンの取扱説明書にあるBluetooth欄を参照し、接続状態にしてください。	26
	･お互いの認識に失敗した。	･一旦、電源をOFFにしてから再度ペアリングを行なってください。	4～6
	･Bluetoothを使用した複数の接続機器が近くで起動している。	･機器のBluetoothを切ってください。	25
Bluetoothの再接続ができない	･接続待機状態になっている。	･機器リストから本製品を選んで接続登録をしてください。	26
	･複数の接続機器登録がされている。	･スマートフォンに複数のBluetooth接続機器が登録されている場合、スマートフォンの取扱説明書を参照して本製品の優先度を最上位にしてください。または自動設定にしてください。	26
	･スマートフォンが再ペアリングを要求してくる。	･再度ペアリングを行なってください。	26
Bluetooth接続が切れた	･スマートフォンと本製品が離れ過ぎている	･スマートフォンと本製品の距離を近付け、再接続してください。(見通し距離約10mは目安で、周囲の状況により距離が短くなる場合があります。)	25
GPS信号を受信しない	･スマートフォンがGPSを受信できていない。	･スマートフォンをGPS受信できる位置に移動させてください。	14
警告がされない	･GPS／各種無線案内がOFFになっている。	･設定画面で確認してください。	35～37
	･スマートフォンがGPSを受信できていない。	･スマートフォンをGPS受信できる位置に移動させてください。	14
	･新設されたポイントのため、登録されていない。	･新たに地点登録をし、警告させることができます。	37
	･設定が適切でない。	･適切な道路選択を行なってください。(例:道路選択設定がHIGHWAYだと一般道路のGPSポイントには反応しません。) ･AACで警告速度範囲を設定している	41

故障かな?と思ったら(つづき)

症　状	考えられる原因	処　置	ページ
取締りが されているが 警告がされない	・レーダー波を受信できない	・取締り準備中・終了後等で、取締機からレーダー波が照射されていない場合があります。 ・取締りが「レーダー方式」の取締機を使用していなかった可能性があります。	7
地点登録ポイントが警告されない	・ポイントがきちんと登録されていない ・反対方向から走行している	・地点登録をしてください。 ・進行方向情報を記録するため、反対側車線では警告されません。	37
音が鳴らない 音が小さい	・スマートフォンの音量調節がOFFになっている ・ミュートがONになっている。	・スマートフォンの音量を調節する。 ・ミュートをOFFにする。	24･28 29･35
	・スマートフォンの音量調節が小さくなっている ・本製品の音量レベルが小さく設定されている。	・スマートフォン側、または本製品の音量レベルを大きくしてください。	24･35
取締りが されていないが 警告する	・取締りレーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用した機器が近くにある。 ※警報が働いてしまう主な機器の種類 電波式の自動ドア･防犯センサー/車両通過計測器/NTTのマイクロウェーブ/通信回線の一部/気象用レーダー･航空レーダーの一部/他のレーダー探知機 ・車内から出ている電波に干渉している。	→これらの症状は故障ではありませんので、ご了承ください。	
シリアルナンバーを入力してもアプリケーションが起動しない	・シリアルナンバーが間違っている	・正しいシリアルナンバーを入力してください。	10
	・シリアルナンバーの使用回数制限3回を超えてしまった	・当社お客様相談室までご連絡ください。	
	・電話番号を変更した	・当社お客様相談室までご連絡ください。	

以上の処置をしても異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは当社お客様相談室までご相談ください。

保証規定／保証書

■本製品について、下記の保証規定により、品質の保証をいたします。

1. 正常なご使用状態において、製造上の不備による故障については、お買い上げの日から1年間、修理・調整申し上げます。尚、ご使用中に生じる磨耗やキズ等の外観上の変化については保証外とします。

2. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。

イ. 誤用・乱用および取扱い不注意による故障
ロ. 火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
ニ. 使用中に生じたキズ等外観上の変化
ホ. 消耗品および付属品の交換
ヘ. インターネットオークションで購入し、販売店欄に記入がないもの

3. 日本国内においてのみ有効です。

■保証書に関しての注意事項

●保証書は再発行いたしません。記載の内容をご確認の上、大切に保管してください。
●下記保証書の販売店名・お買い上げ日等の所定事項に記入がないものは無効となります。万一記載がない場合は、販売店にお申し出ください。
●商品発送の際は、保証書を同封してください。

お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社までお問い合わせください。
お買い上げ日より1年以降のものについては修理しかねます。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ キ リ ト リ －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

保証書

（保証規定の内容により、修理および調整を行なうことをお約束するものです。）

保証期間:お買い上げ日より1年間

商品名：OBINAVI 1　　品番：SA-001

お買い上げ日：　　年　　月　　日

お客様名：
ご住所：〒　　－
電話番号：　　（　　）

販売店名：
住所：〒　　－
電話番号：　　（　　）

L-1117

ヤック株式会社
〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL http://www.yacjp.co.jp

商品に関するお問い合わせは…
お客様相談室 0564-66-0773(直通)
受付時間:月～金(祝祭日除く) 9:30～17:30